

令和 7 年度 神戸市内地域組織基礎調査

自治会

調査結果報告書

令和 8 年 3 月

神戸市

【目次】

(1) 調査概要	1
① 調査の目的	1
② 調査対象	1
③ 調査方法等	1
④ 調査の対象と回収状況	1
⑤ 調査結果の表示方法	2
(2) 団体の活動	3
① 地域の世帯数（問 1 ④）	3
② 加入世帯数（問 1 ⑤）	3
③ 自治会の区域（問 1 ⑥）	4
④ 法人格の有無（問 1 ⑦）	4
⑤ 加入促進のための取り組み（問 2）	5
⑥ 退会を防ぐための取り組み（問 3）	6
⑦ 実施している活動と今後再開したい活動（問 4）	7
⑧ 今後特に力を入れたい活動（問 4）	8
⑨ 直近3年間で縮小または中止した活動の要因（問 5）	9
⑩ 直近3年間で縮小または中止した具体的な活動内容（問 5）	9
⑪ 所有している集会施設の築年数（問 6 ③）	10
⑫ 現在の集会施設貸出の有無（問 6 ④）	10
⑬ 集会施設の貸出先（問 6 ⑤）	11
⑭ 集会施設の自治会員以外への貸出に対する考え（問 7）	11
⑮ 1 世帯あたりの会費（問 8）	12
⑯ 直近年度の決算の収入額（問 9）	12
(3) デジタル技術の活用	13
① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問10）	13
② デジタル技術の導入にあたっての課題（問11）	14
③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問12）	15
④ 工夫をしながらデジタルを活用してうまくいっている取り組み（問13）	16
(4) 他団体や外部との連携	17
① 他団体との連携の状況（問14）	17
② 他団体と連携した取組事例（問15）	18
③ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問16）	21
④ 外部に委託している業務（問17）	23
⑤ 外部に委託している業務の具体的な内容（問17）	23
⑥ 地域住民が活動に参加するメリット（問18）	24
(5) 活動を進めていくための課題	25
① 活動を進めていくための課題（人材面）（問19①）	25

② 活動を進めていくための課題（運営面）（問19②）	26
③ 役員や中心メンバーの業務負担（問20）	27
④ 役員・スタッフの関与者を増やすためアイデア（問21）	28
(6) 団体が活動している地域の状況等	29
① 活動している地域の課題（問22）	29
② 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問23）	30
(7) 今後の活動に向けて	31
① 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問24）	31
(8) 代表の活動状況	31
① 代表の選出方法（問25）	31
② 代表になってからの年数（問26）	32
③ 地域活動の担い手として参加したきっかけ（問27）	32
④ 地域活動のための月間活動日数（問28）	33
⑤ 会長として特に感じる負担と行政に支援してもらい分野（問29）	33
⑥ 他団体や地域住民に勧めたい活動（問30）	34
⑦ 他団体や地域住民に勧めたい活動（問30）	34
(9) 代表の状況	35
① 代表（回答者）の状況-年代（問31①）	35
② 代表（回答者）の状況-現在の地域（小学校区）での居住年数（問31②）	36
③ 代表（回答者）の状況-就業状況（問31③）	36
(10) 自由意見（その他）	37
① 加入促進のための取り組み（問2）	37
② 退会を防ぐための取り組み（問3）	37
③ 退会を防ぐための取り組みで効果があったもの（問3）	38
④ 退会を防ぐための取り組みで効果がなかったもの（問3）	38
⑤ 実施している活動/休止している活動/今後力を入れていきたい活動（問4）	38
⑥ デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問10）	39
⑦ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問12）	39
⑧ 工夫をしながらデジタルを活用してうまくいっている取り組み（問13）	40
⑨ 他団体との連携の状況（問14）	40
⑩ 地域住民が活動に参加するメリット（問18）	40
⑪ 活動を進めていくための課題（人材面）（問19①）	40
⑫ 活動を進めていくための課題（運営面）（問19②）	41
⑬ 活役員や中心メンバーの業務負担（問20）	41
⑭ 役員・スタッフの関与者を増やすためアディア（問21）	42
⑮ 活動している地域の課題（問22）	42
⑯ 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問23）	43
⑰ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問24）	43
⑱ 代表の選出方法（問25）	44
⑲ 地域活動の担い手として参加したきっかけ（問27）	44

(資料) 調査票

(1) 調査概要

① 調査の目的

神戸市では、おおむね3年ごとに、市内で活動されている地域組織のみなさまの活動実態及び課題などを把握するためアンケート調査を実施している。

令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での活動が制限されたり、感染防止対策が必要となるなど、地域活動の実施にあたっては様々な工夫をされるとともに、様々な地域課題への対応や、デジタル技術の活用等、新たな取組にもチャレンジされていると考えられる。そこで、地域組織の活動に携わっている市民の取り組みや感じていることを把握し、今後の施策に活用する。

② 調査対象

下記の団体を対象とする。

	概要	備考
自治会	様々な地域課題を住民自ら解決するために結成された住民自治組織で、地域の実情に応じ、クリーンステーションの清掃、防火・防犯活動、高齢者や障がい者への福祉活動、親睦行事の催しなどの活動を行っている。	神戸市に登録している自治会を対象とした。マンション管理組合は対象外とした。

③ 調査方法等

調査方法	調査対象団体の代表者に調査票を郵送配付し、返送又はWeb回答で回収した。
調査期間	令和8年2月17日（火）～2月27日（金）Web回答〔3月5日（木）〕

④ 調査の対象と回収状況

	発送数	未着数	有効発送数	有効回収数	回収率
全市	2621	0	2621	1262	48.1%
東灘区	194	0	194	69	35.6%
灘区	165	0	165	83	50.3%
中央区	118	0	118	29	24.6%
兵庫区	207	0	207	83	40.1%
北区	369	0	369	146	39.6%
長田区	285	0	285	103	36.1%
須磨区	315	0	315	124	39.4%
垂水区	494	0	494	171	34.6%
西区	473	0	473	192	40.6%
不明	1	0	1	262	

⑤調査結果の表示方法

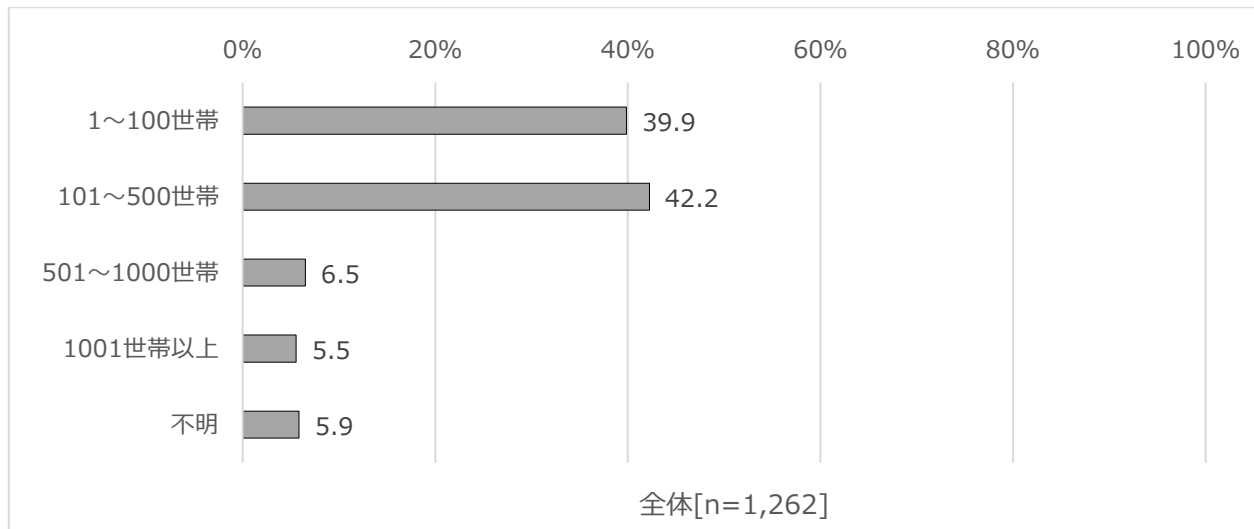
- ・比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの百分率（％）で表しています。このため、合計が100%にならない場合もあります。
- ・各設問のサンプルサイズは、“n＝●”として記載しています。
- ・〔複数回答〕とある設問は、2つ以上の選択肢を回答することが可能な設問です。このため、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。

(2) 団体の活動

①地域の世帯数（問 1 ④）

地域の世帯数は、「101世帯～500世帯」が42.2%、「1～100世帯」が39.9%となっている。

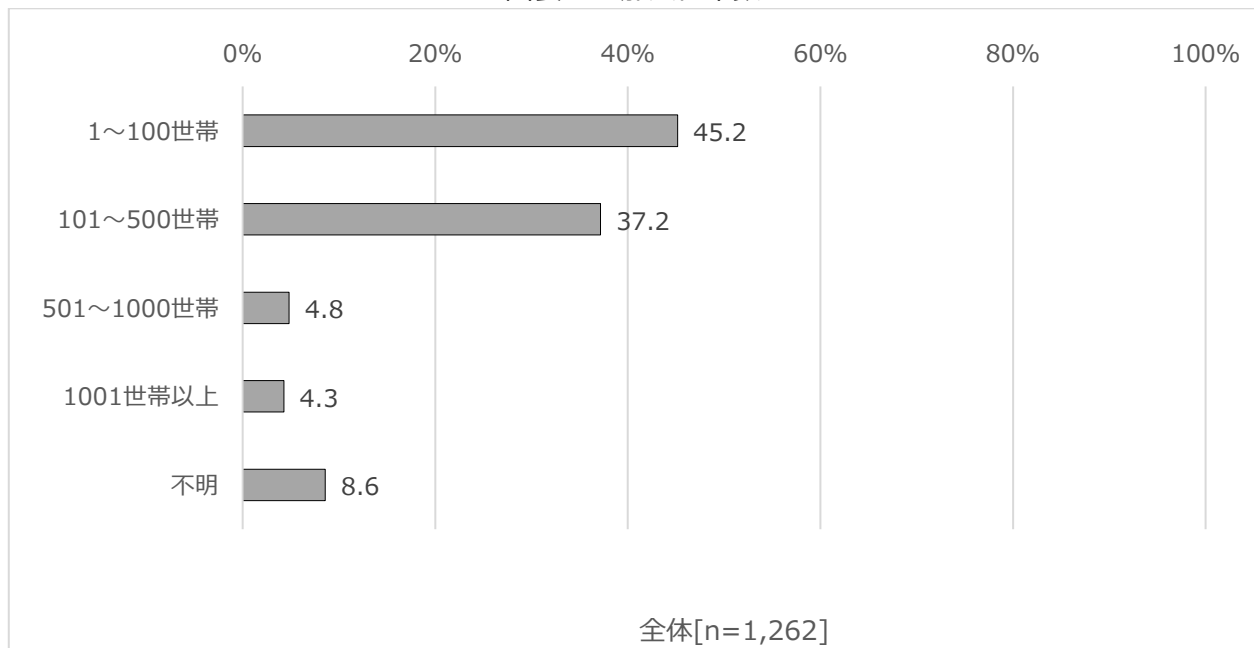
図表 1 地域の世帯数



②加入世帯数（問 1 ⑤）

加入世帯数は、「1～100世帯」が45.2%「101世帯～500世帯」が37.2%となっている。

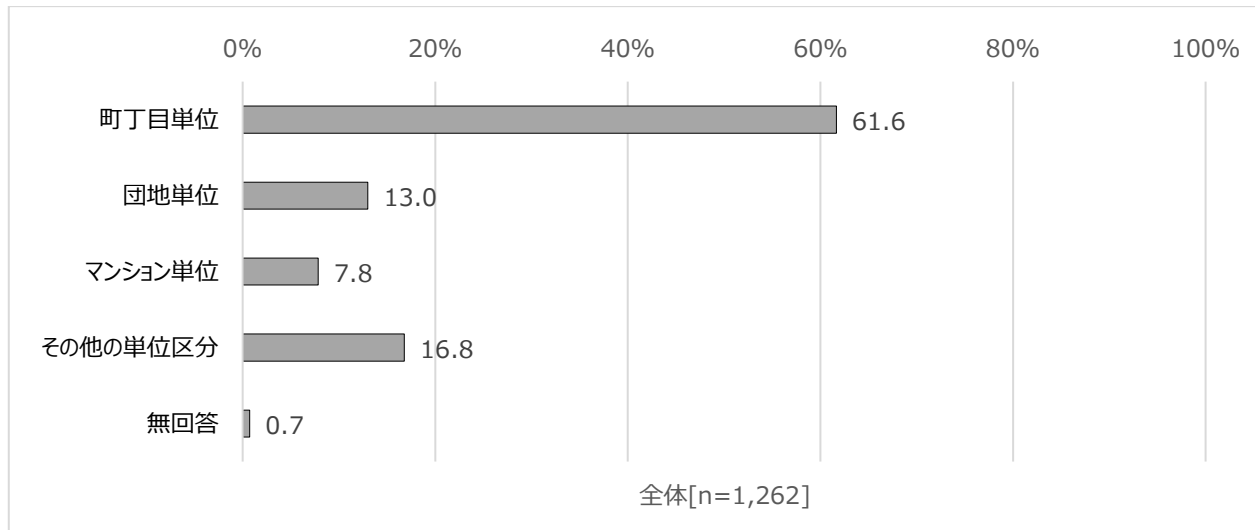
図表 2 加入世帯数



③自治会の区域（問 1 ⑥）

自治会の区域は、「町・丁を単位とするなど地域を区域」が61.6%と最も多く、次いで「その他」が16.8%、「団地を区域」が13.0%などとなっている。

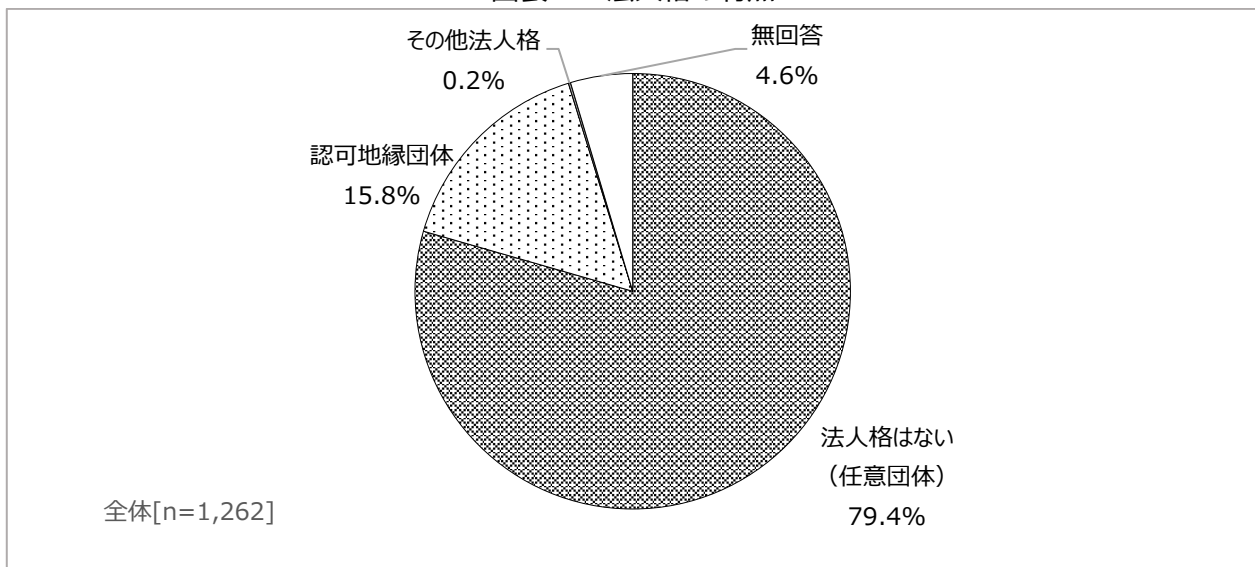
図表 3 自治会の区域



④法人格の有無（問 1 ⑦）

法人格の有無は、「法人格はない（任意団体）」が79.4%、「認可地縁団体」が15.8%、「その他の法人格」が0.2%などとなっている。

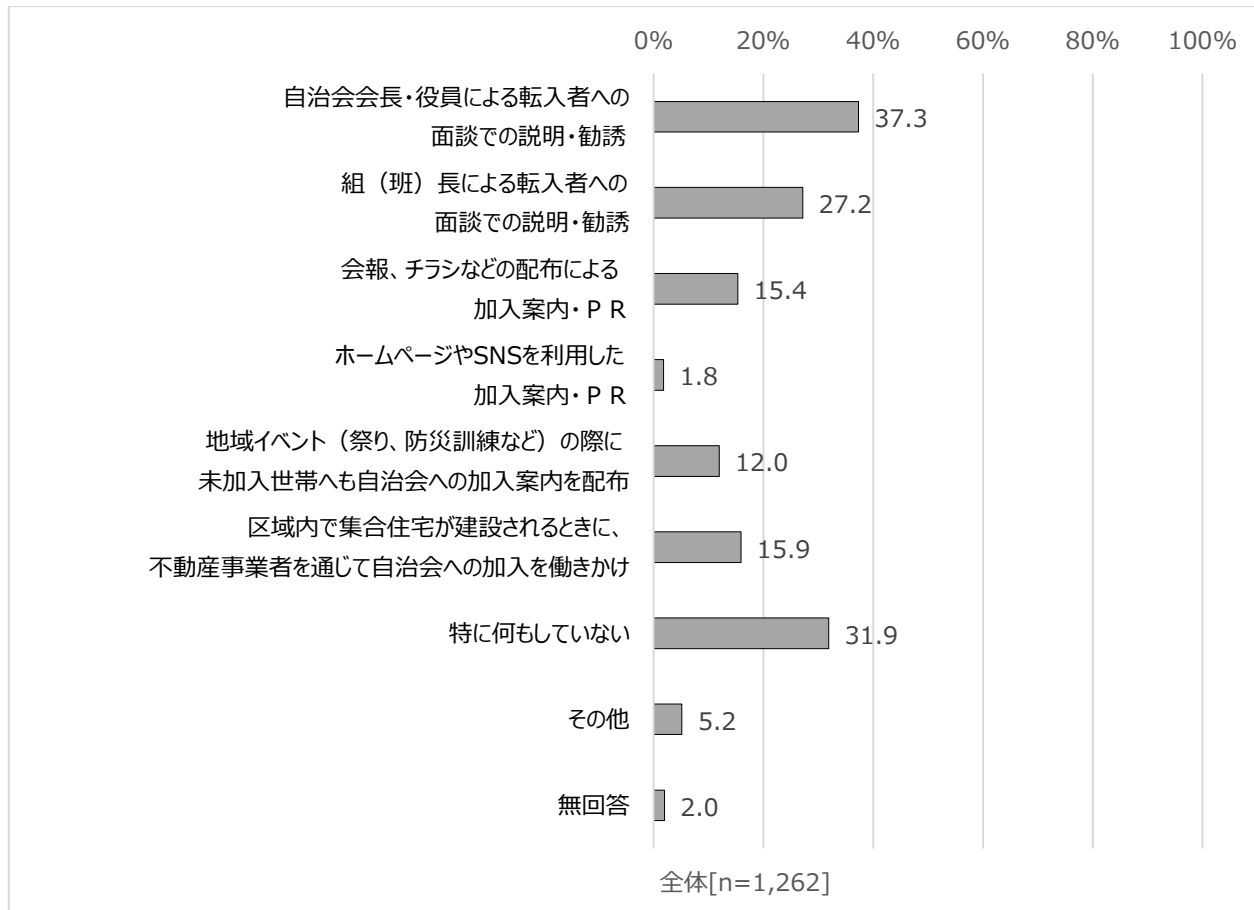
図表 4 法人格の有無



⑤ 加入促進のための取り組み（問２）

加入促進のための取り組みは、「自治会会長・役員による転入者への面談での説明・勧誘」が37.3%と最も多く、次いで「特に何もしていない」が31.9%、「組（班）長による転入者への面談での説明・勧誘」が27.2%などとなっている。

図表 5 加入促進のための取り組み〔複数回答〕



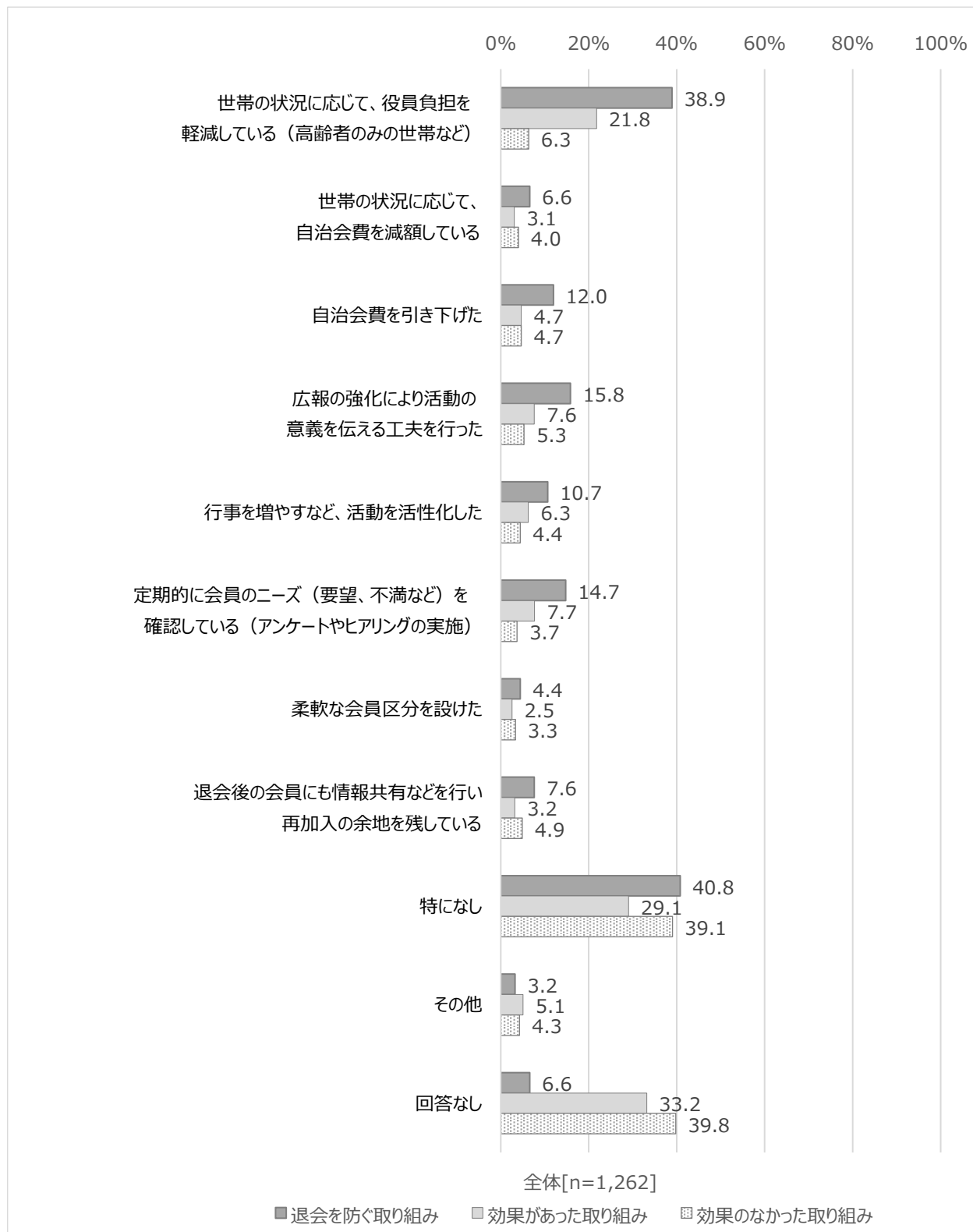
⑥退会を防ぐための取り組み（問3）

退会を防ぐための取り組みは、「特になし」が40.8%と最も多く、次いで「世帯の状況に応じて、役員負担を軽減している（高齢者のみの世帯など）」が38.9%などとなっている。

効果があった取り組みは、「特になし」が29.1%と最も多く、次いで「世帯の状況に応じて、役員負担を軽減している（高齢者のみの世帯など）」が21.8%などとなっている。

効果がなかった取り組みは、「特になし」が39.1%となっている。

図表 6 退会を防ぐための取り組み〔複数回答〕



⑦実施している活動と今後再開したい活動（問４）

現在実施している活動は、「⑧ クリーンステーションの管理・マナー啓発」が76.9%と最も多く、次いで、「⑩ 資源ごみや廃品の回収などのリサイクル活動」が57.0%「⑰死亡弔慰金（物品含む）」が55.7%などとなっている。

休止しているが再開したい活動は、「⑳その他の活動」が22.3%と最も多く、次いで「① 高齢者世帯の見守り、慰問など」が5.7%、「⑮ 防犯活動」が4.8%などとなっている。

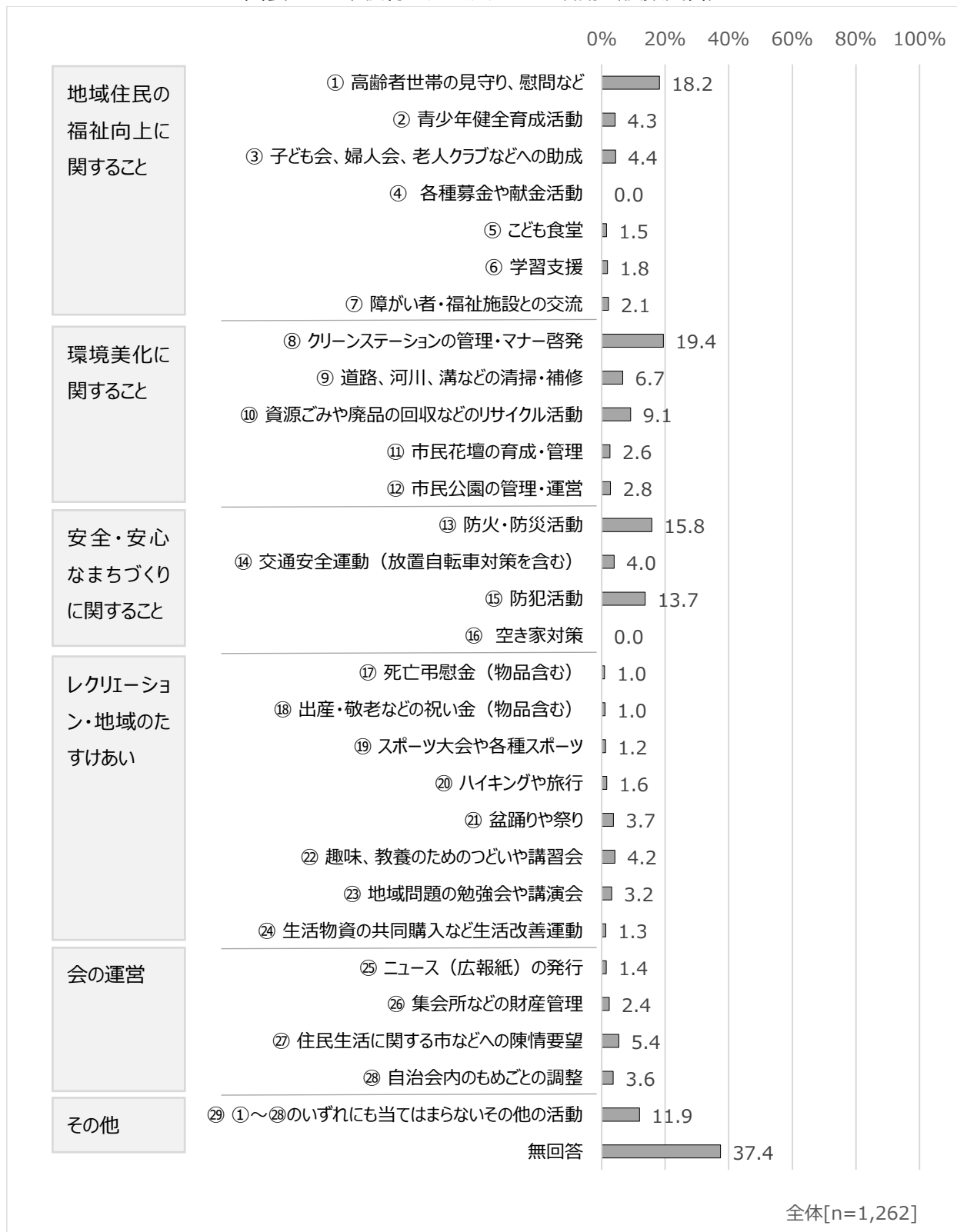
図表 7 現在実施している活動と再開したい活動〔複数回答〕



⑧今後特に力を入れたい活動（問４）

今後特に力を入れたい活動は、「⑧ クリーンステーションの管理・マナー啓発」が19.4%と最も多く、次いで「① 高齢者世帯の見守り、慰問など」が18.2%、「⑬ 防火・防災活動」が15.8%などとなっている。

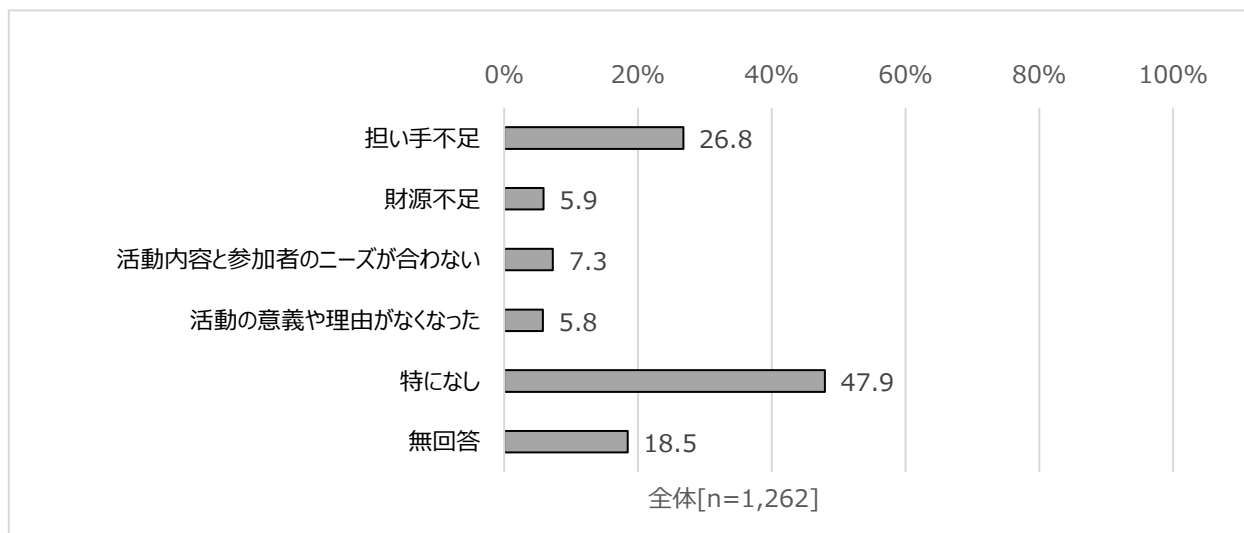
図表 8 今後特に力を入れたい活動〔複数回答〕



⑨直近 3 年間で縮小または中止した活動の要因（問 5）

直近 3 年間で縮小したまたは中止した活動の要因は、「特になし」が 47.9%と最も多く、次いで「担い手不足」が 26.8%、「活動内容と参加者のニーズが合わない」が 7.3%などとなっている。

図表 9 直近3年間で縮小または中止した活動の要因



⑩直近 3 年間で縮小または中止した具体的な活動内容（問 5）

直近 3 年間で縮小または中止した具体的な活動内容、次のような回答があげられた。

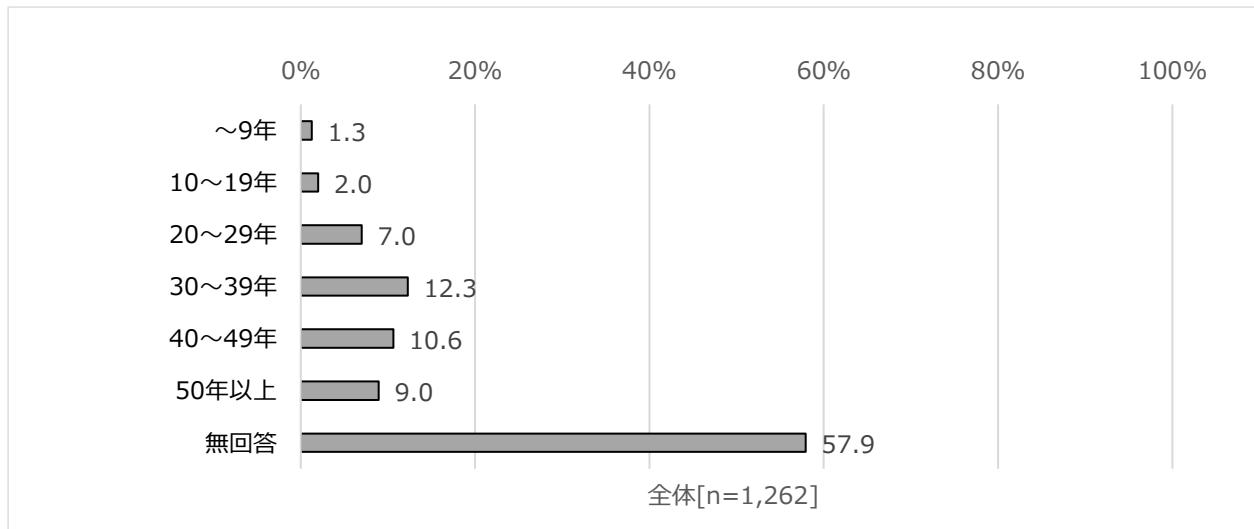
図表 10 直近3年間で縮小または中止した具体的な活動内容

主な要因	縮小または中止した具体的な活動内容
担い手不足	防犯・防災： 猫の捕獲、病院への送迎などの TNR 活動 祭り・行事： 音楽祭、 運営・広報： 就労支援事業、ヘルパー事業所、料理教室、居場所事業（昼食会）、飲食スペースの運営、子どもの健全育成事業、指導者を置いた自習室、障がい児童（児童発達管理責任者） その他：生活支援サポーター、日常の手伝い、身体者施設の買い物、施設中でのお手伝い、家事援助（介護保険の利用が増えた）
財源不足	旅行・イベント： BBQ 大会、野鳥観察会、スポーツ教室、パーキンソン病の方に向けた料理リハ、忘年クリスマス会、バーベキュー大会、フィリピンへのフィールドワーク 給付・お祝い： 敬老の日のお祝い金（または物品）、子供手当、出産祝金、死亡弔慰金、老人会への助成、不登校児への教育、カンボジアの方の日本研修、児童館での親子向け講座 施設・寄付： 集会所の修繕・撤去、掲示板の更新、赤い羽根募金・日赤などの寄付金、ODA
活動内容と参加者のニーズが合わない	懇親・交流： 児童館や学童保育との合同イベントの企画、視覚障がい児とその家族の交流をする会 子供向け： 子供食堂、児童養護施設へのクリスマスプレゼント配布、預り保育
活動の意義や理由がなくなった	親睦・交流： 実験セットを作製して販売

⑪所有している集会施設の築年数（問 6 ③）

所有している集会施設の築年数は、「30～39 年」が 12.3%と最も多く、次いで「40～49 年」が 10.6%、「50 年以上」が 9.0%などとなっている。

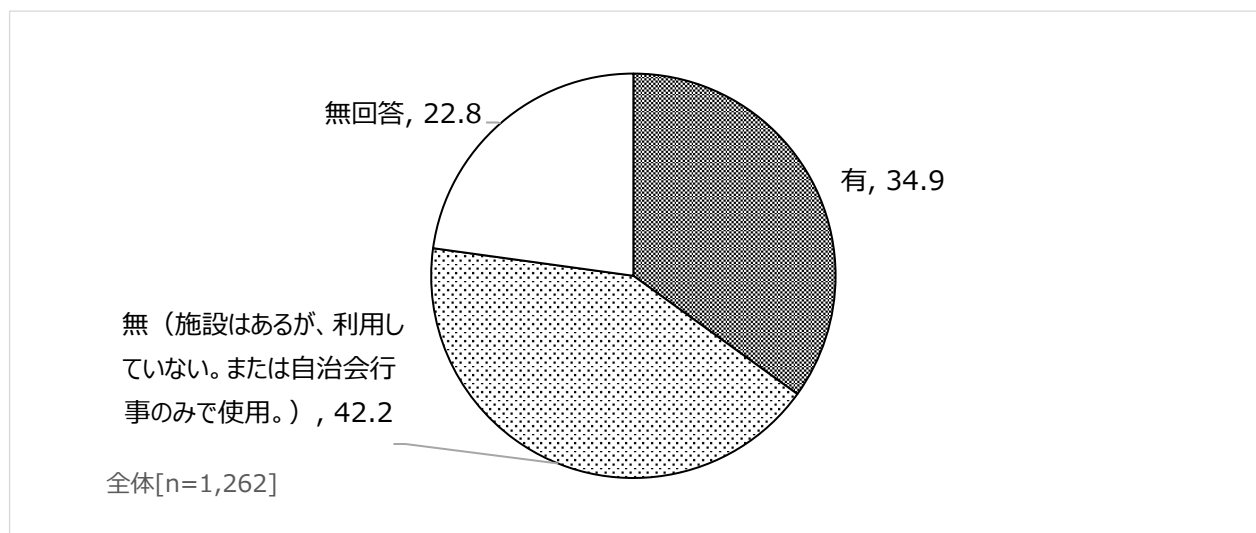
図表 11 所有している集会施設の築年数



⑫現在の集会施設貸出の有無（問 6 ④）

現在の集会施設貸出の有無は、「無」が 42.2 %となっている。

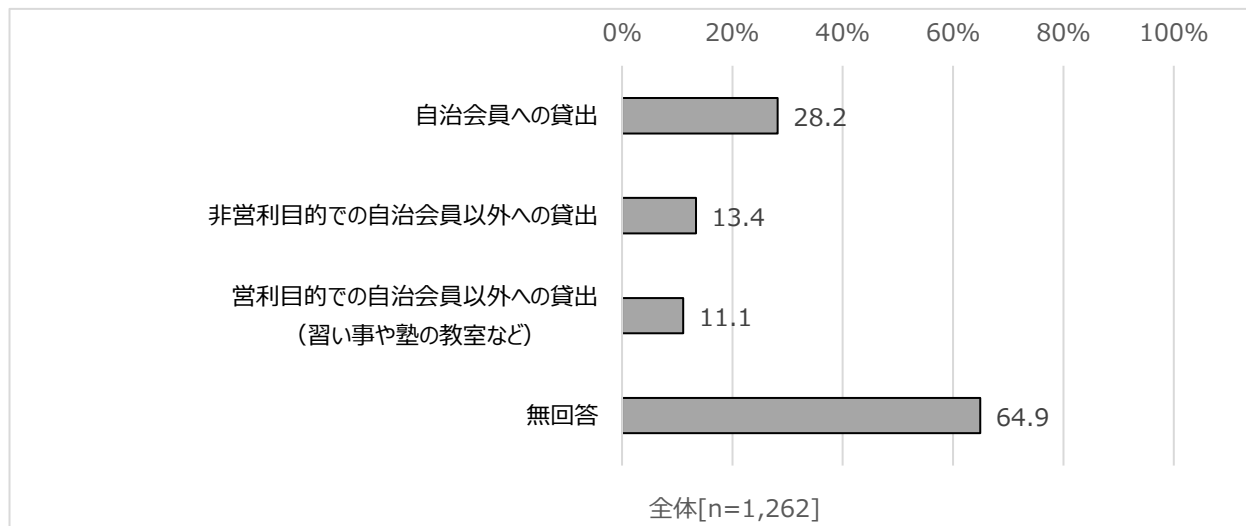
図表 12 現在の集会施設貸出の有無



⑬集会施設の貸出先（問 6 ⑤）

集会施設の貸出先は「自治会員への貸出」が 28.2%と最も多く、次いで「非営利目的での自治会員以外への貸出」が 13.4%などとなっている。

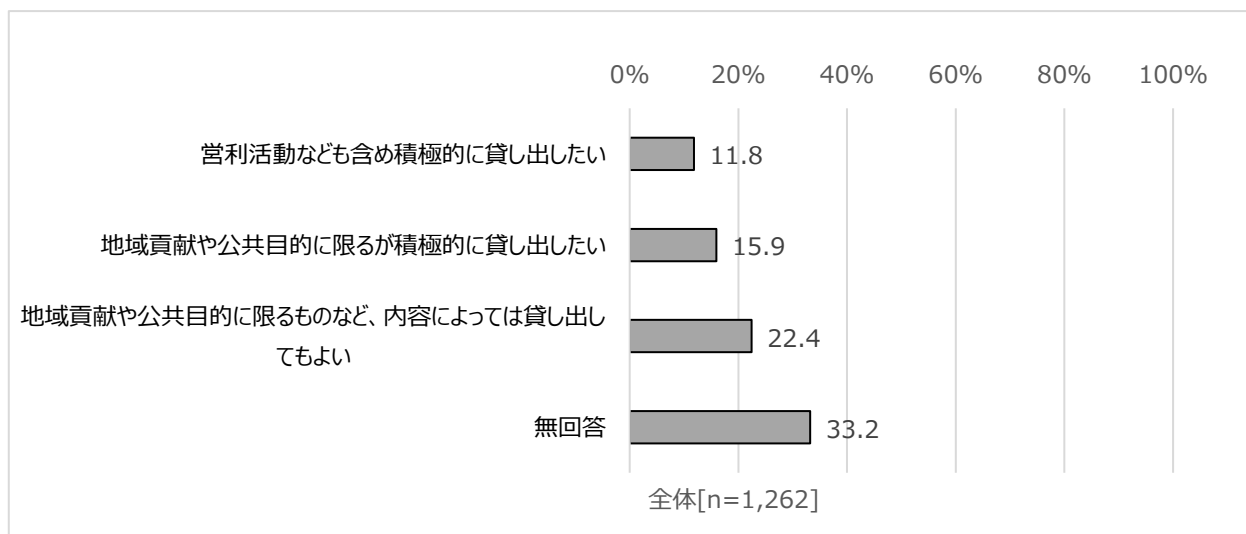
図表 13 集会施設の貸出先〔複数回答〕



⑭集会施設の自治会員以外への貸出に対する考え（問 7）

集会施設の自治会員以外への貸出に対する考えは、「地域貢献や公共目的に限るものなど、内容によっては貸し出してもよい」が 22.4%と最も多く、次いで「地域貢献や公共目的に限るが積極的に貸し出したい」が 15.9%、「営利活動なども含め積極的に貸し出したい」が 11.8%などとなっている。

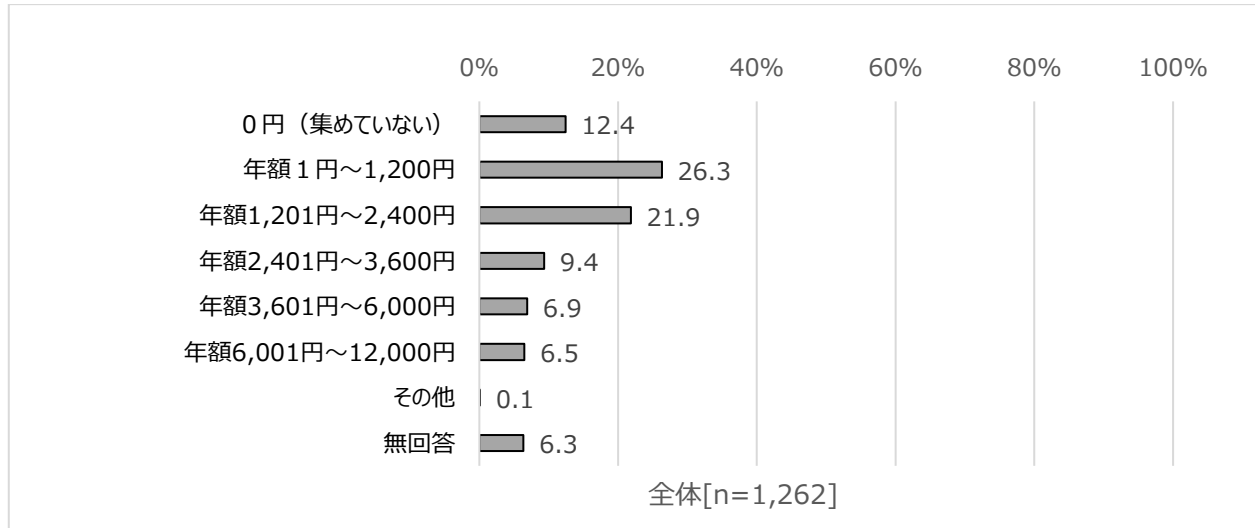
図表 14 集会施設の貸出に対する考え〔複数回答〕



⑮ 1世帯あたりの会費（問8）

1世帯あたりの会費は、「年額1円～1,200円」が26.3%と最も多く、次いで「年額1,201円～2,400円」が21.9%、「0円（集めていない）」が12.4%などとなっている。

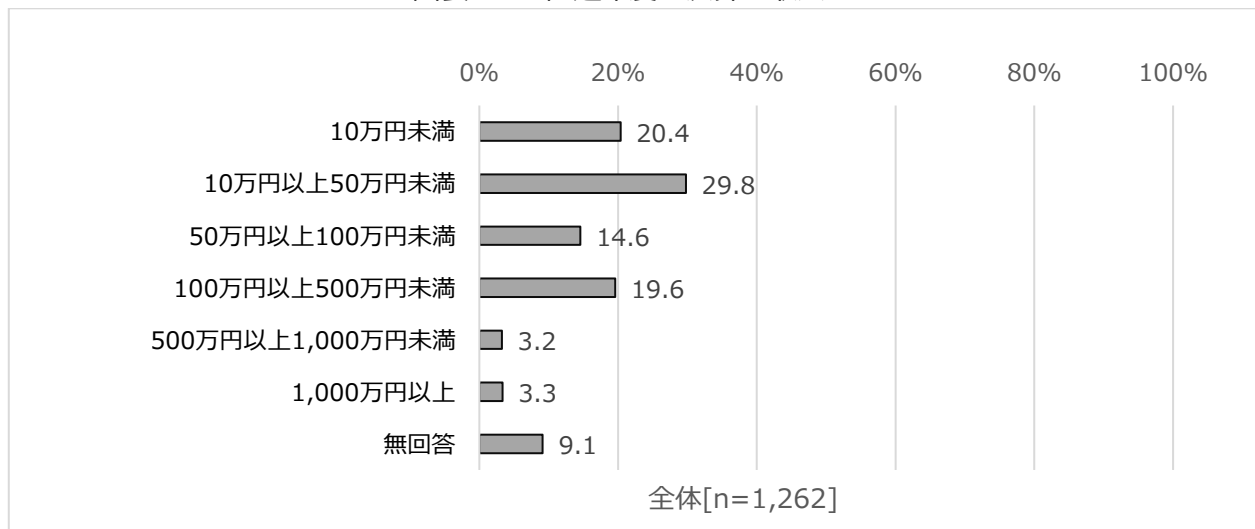
図表 15 1世帯あたりの会費



⑯ 直近年度の決算の収入額（問9）

直近年度の決算の収入額は、「10万円以上50万円未満」が29.8%と最も多く、次いで「10万円未満」が20.4%と「100万円以上500万円未満」が19.6%などとなっている。

図表 16 直近年度の決算の収入額



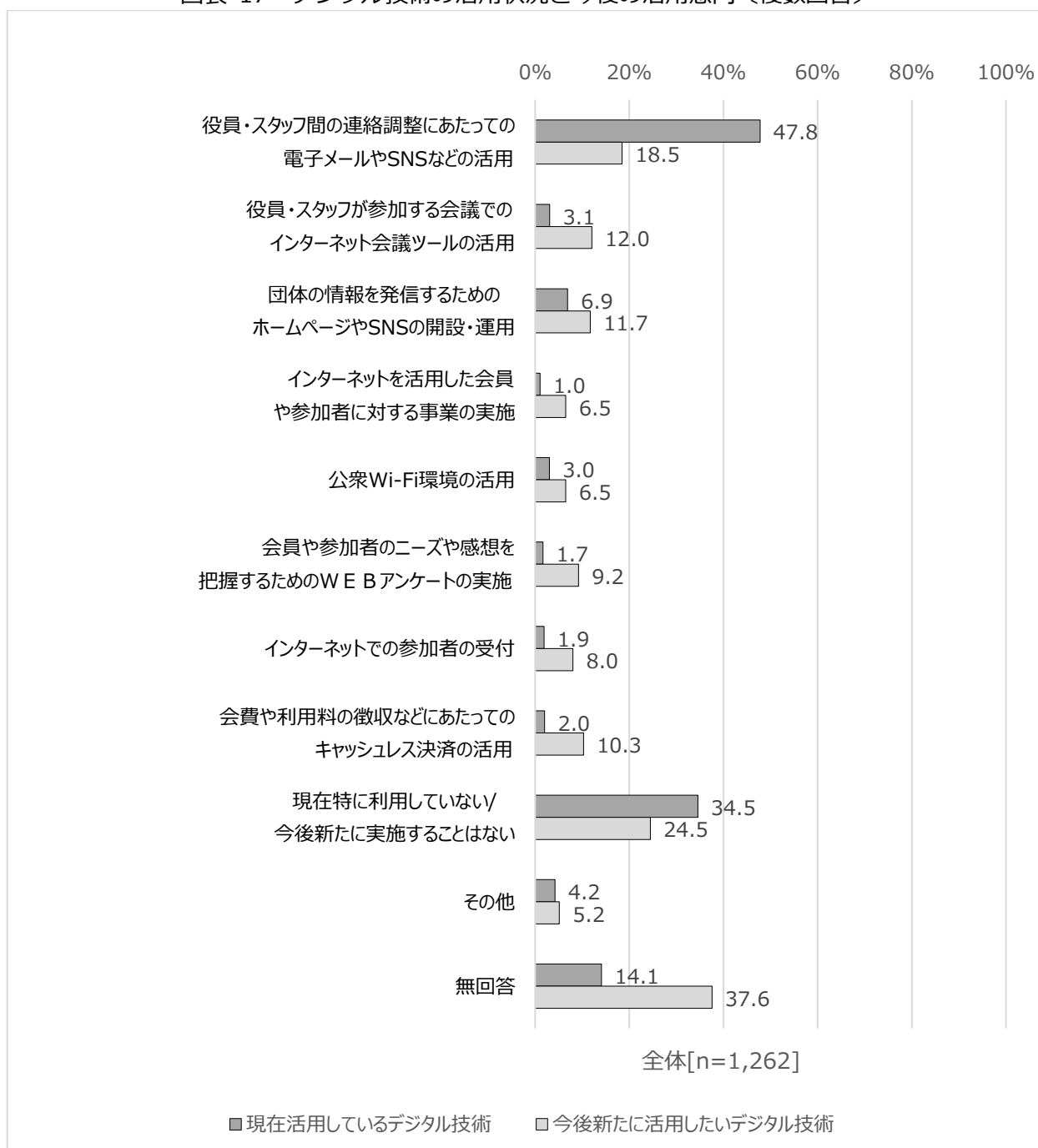
(3) デジタル技術の活用

①デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問 10）

現在活用しているデジタル技術は、「役員・スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNSなどの活用」が47.8%と最も多く、次いで「現在特に利用していない」が34.5%、「団体の情報を発信するためのホームページやSNSの開設・運用」が6.9%などとなっている。

今後新たに活用したいデジタル技術は、「今後新たに実施することはない」が24.5%と最も多く、次いで「役員・スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNSなどの活用」が18.5%、「役員・スタッフが参加する会議開催でのインターネット会議の開催」が12.0%などとなっている。

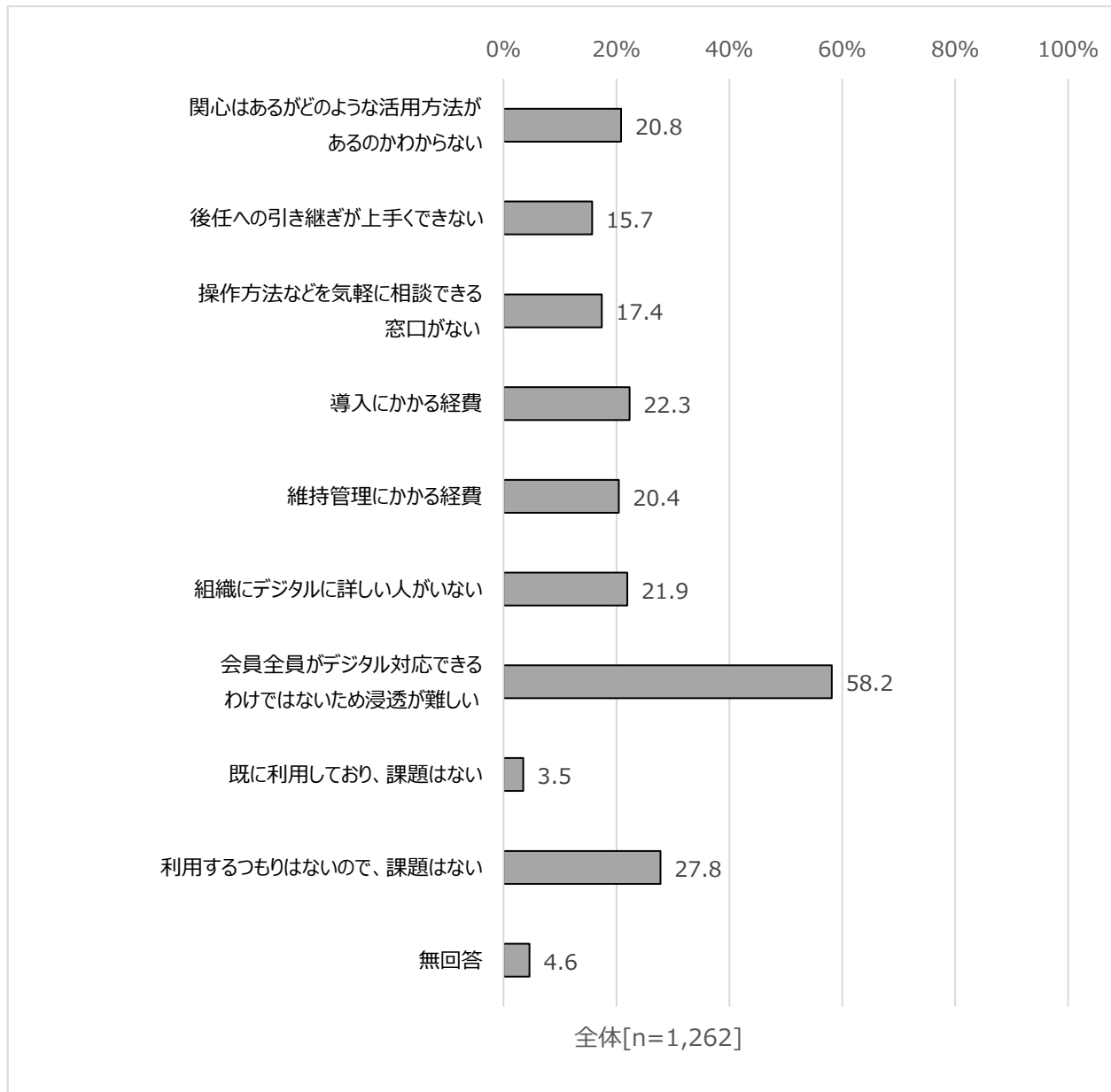
図表 17 デジタル技術の活用状況と今後の活用意向〔複数回答〕



②デジタル技術の導入にあたっての課題（問 11）

デジタル技術の導入にあたっての課題は「会員全員がデジタル対応できるわけではないため浸透が難しい」が58.2%と最も多く、次いで「利用するつもりはないので、課題はない」が27.8%、「導入にかかる経費」が22.3%などとなっている。

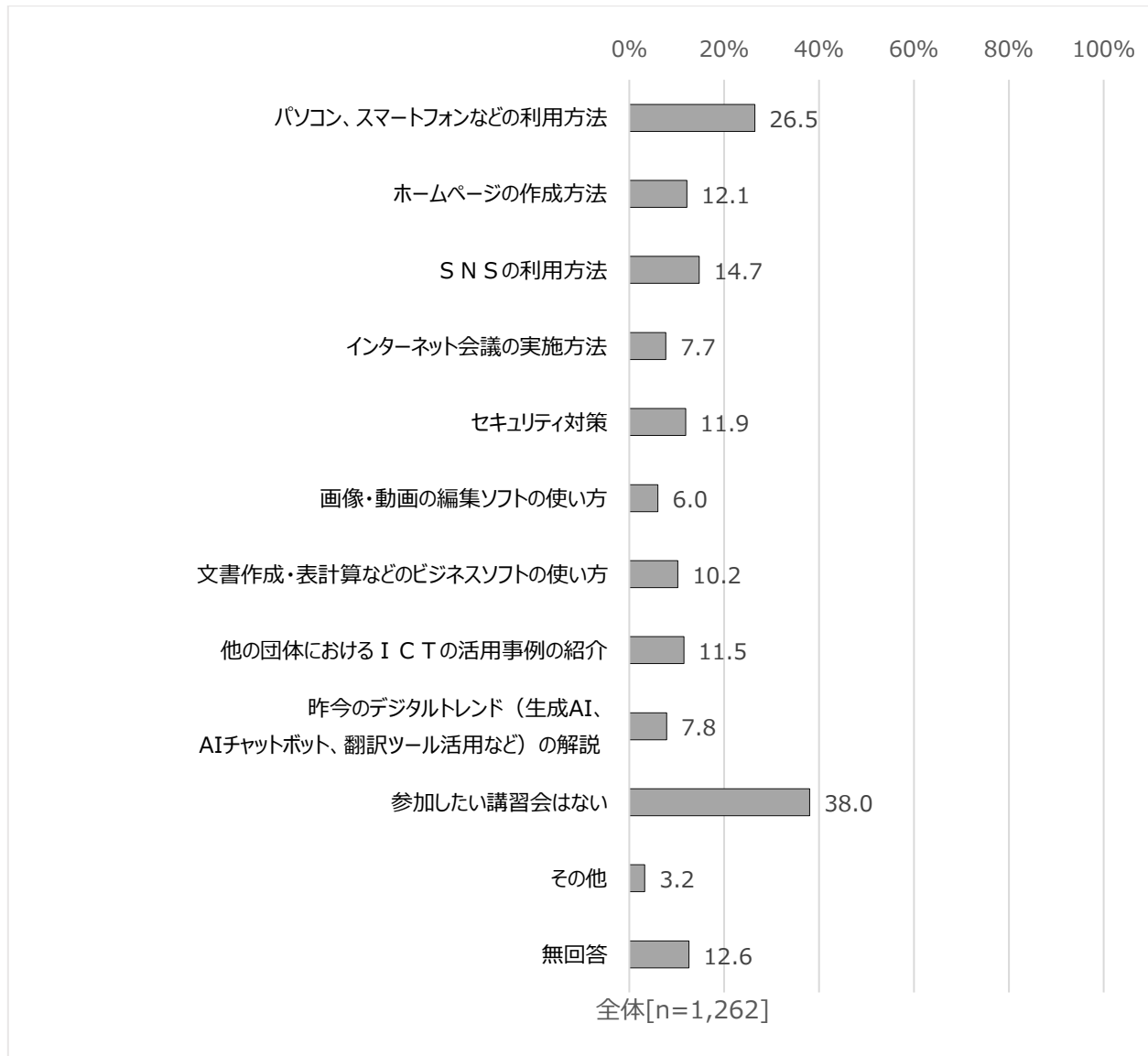
図表 18 デジタル技術の活用状況と今後の活用意向〔複数回答〕



③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問 12）

デジタル技術活用のために参加したい講習会は、「参加したい講習会はない」が38.0%と最も多く、次いで「パソコン、スマートフォン等の利用方法」が26.5%、「SNSの利用方法」が14.7%などとなっている。

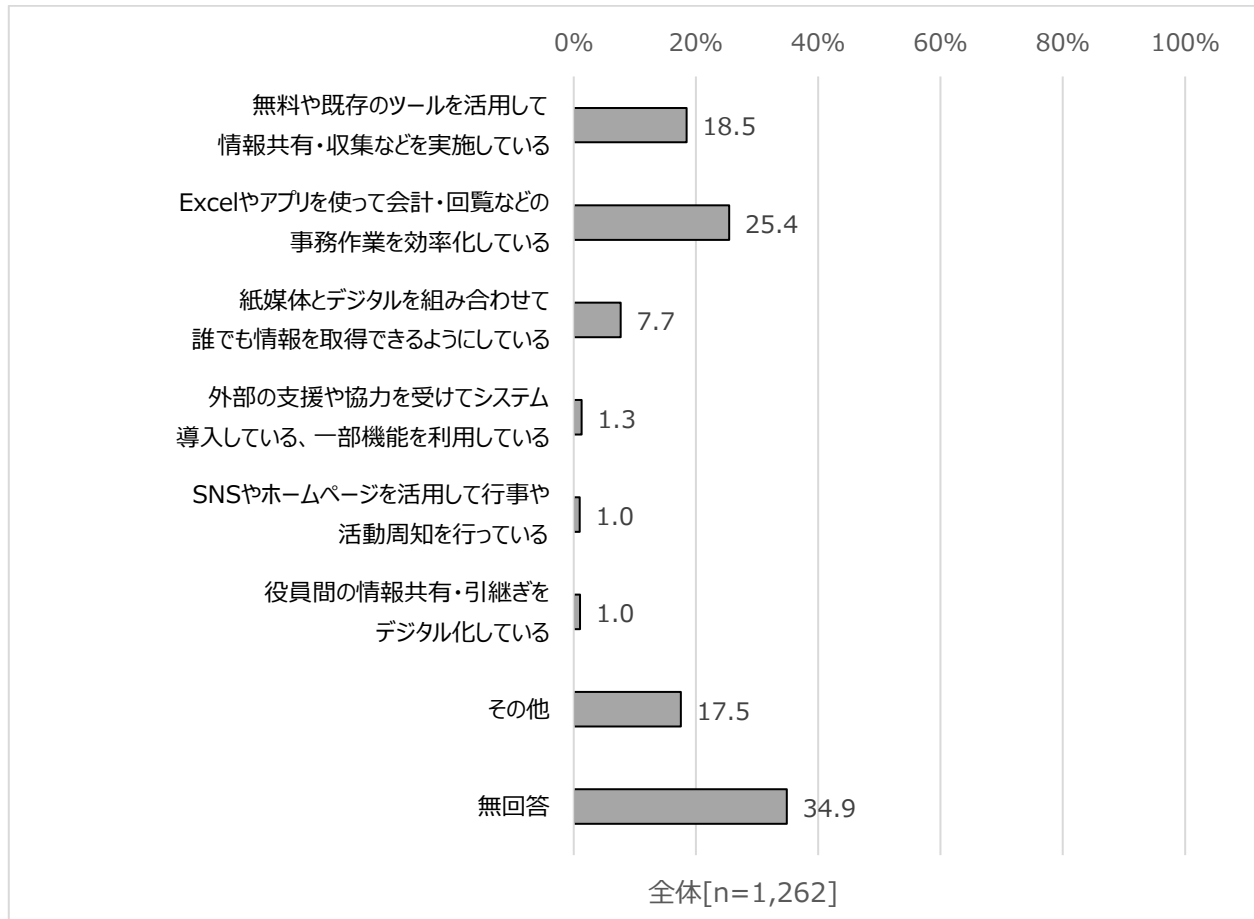
図表 19 デジタル技術活用のために参加したい講習会〔複数回答〕



④工夫をしながらデジタルを活用してうまくいっている取り組み（問 13）

工夫をしながらデジタルを活用してうまくいっている取り組み「Excel やアプリを使って会計・回覧などの事務作業を効率化している」が 25.4%と最も多く、次いで「無料や既存のツールを活用して情報共有・収集などを実施している」が 18.5%、「その他」が 17.5%などとなっている。

図表 20 工夫をしながらデジタル活用がうまくいっている取り組み〔複数回答〕



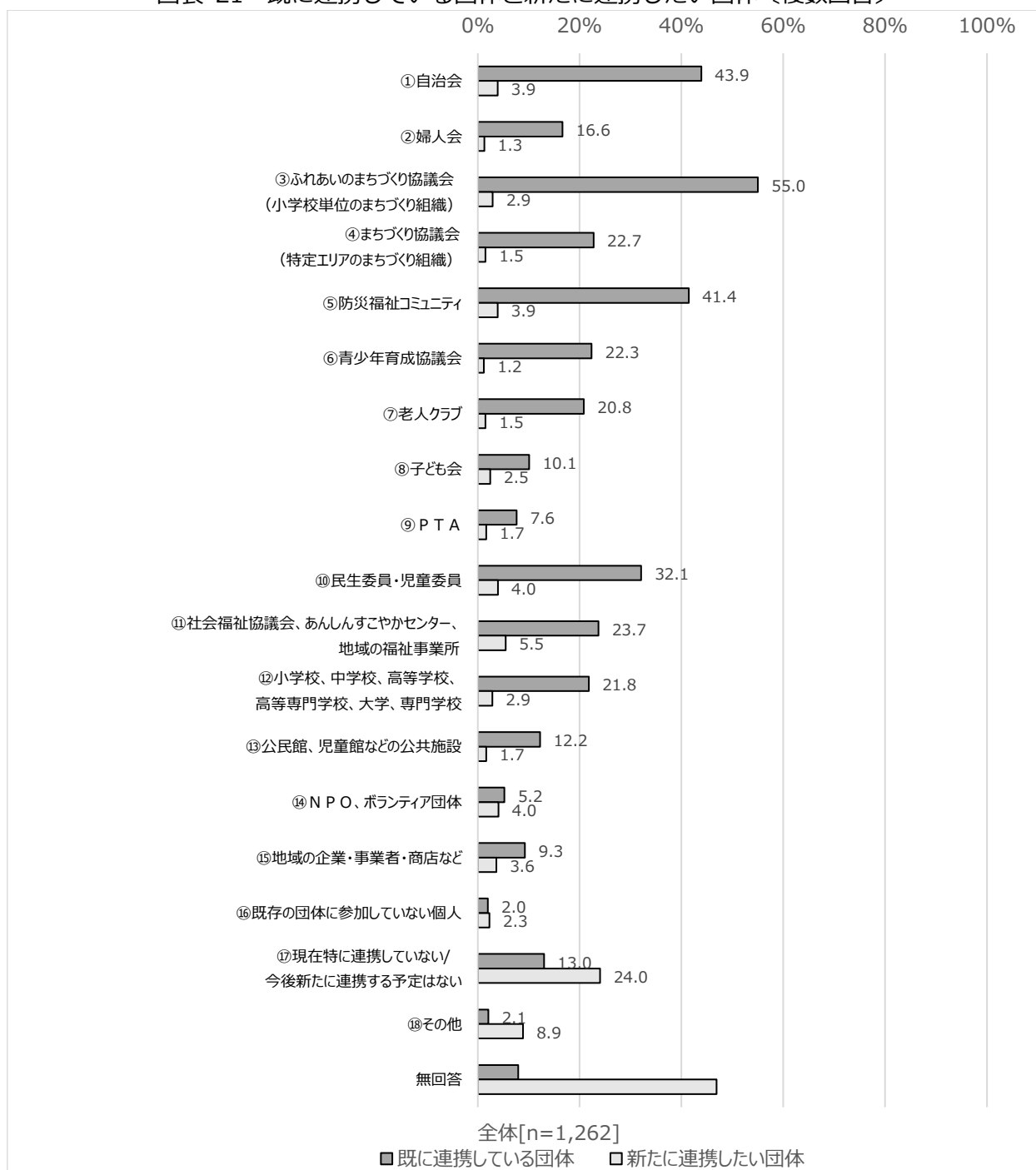
(4) 他団体や外部との連携

①他団体との連携の状況（問 14）

既に連携している団体は、「③ふれあいまちづくり協議会（小学生単位のまちづくり組織）」が55.0%と最も多く、次いで「①自治会」が43.9%、「⑤防災福祉コミュニティ」が41.4%などとなっている。

新たに連携したい団体は、「⑰今後新たに連携する予定はない」が24.0%と最も多く、次いで「⑱その他」が8.9%、「⑪社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉事業所」が5.5%などとなっている。

図表 21 既に連携している団体と新たに連携したい団体〔複数回答〕



②他団体と連携した取組事例（問 15）

他団体と連携した取組として、次のような取組事例があげられた。

図表 22 他団体と連携した取組事例

連携団体	連携内容
自治会	夏祭り・盆踊り・秋祭り・もちつき大会などの地域行事の共催・担い手確保
	連合自治会を通じ月次・定例の情報交換・意見共有
	防犯パトロール・年末夜警・防火見回りの合同実施
	ゴミステーション・クリーンステーション・公園の共同管理
	資源ゴミ・燃えないゴミ当番の割当・共同収集
	給水訓練・防災訓練の合同実施
	コミュニティバス・交通問題への共同対応
	行政への共同要望（道路・堤防・通学路等）
	敬老会・老人給食・高齢者見守りの連携
	連合自治会フェスタなど大規模イベントの共催
婦人会	防災・炊き出し訓練の共催
	盆踊り・祭りへのスタッフ派遣
	ふれあい喫茶の運営補助
	グラウンドゴルフ大会の共催
	公園・花壇の清掃・整備
	資源ゴミ回収への協力
	合同バス研修・親睦旅行の実施
	募金活動（赤い羽根等）の協力
	人とのつながり・地域コミュニティの形成
他のふれまち協	夏祭り・秋祭り・もちつき大会・手伝い
	防災訓練・防犯パトロールの共同実施
	ラジオ体操・グラウンドゴルフ・輪投げ大会の共催
	ふれまち行事（文化祭・運動会等）への参加・広報協力
	定例会議・情報交換会への役員派遣
	川清掃・クリーン作戦への参加
	敬老の集い・昼食会・健康体操への参加
	子どもみこし・七夕祭り・花まつり・盆踊りの共催
	フードロス事業・地産地消の連携
	地域組織のコンパクト化・再編に向けた協議
まちづくり協議会	お祭り・地域行事の実行委員参加・共催
	防災訓練・防犯活動への参加
	まちづくり協定の意向調査・更新対応
	コミュニティバス・地域交通の運行対応
	デジタルサイネージ設置・放置自転車対策
	地域課題のアンケート共有・解決策検討
	敬老式・たそがれコンサートなど行事の運営
	太陽光パネル問題・ふれあいバス運行開始への対応
	都市住民との交流イベントの実施
	地域組織の整理・再編についての協議
防災福祉コミュニティ	防災訓練・総合避難訓練・給水訓練の合同実施
	AED講習・消火訓練・放水訓練の共催

	防犯パトロール・夜間見廻りの実施
	防災リーダー研修・機材使い方講習の実施
	災害時要援護者情報の共有・個別避難計画の策定
	1.17震災イベント・防災花火大会への参加
	地域防災意識の向上・被災時行動の共有
	小学校・中学校との合同防災訓練
	ビル版防災訓練
青少年育成協議会	夏祭り・盆踊り・もちつき大会の共同開催
	ラジオ体操・風揚げ大会・マノウィンなどの行事運営
	防犯パトロール・見守り活動の共同実施
	登下校時の見守り・あいさつ活動
	市民救命士講習・年末パトロールの共催
	子どもへの行事参加・野外活動支援
	桜の宮まつり・地域祭りの設営・撤去補助
	定期的な地域課題共有会議の実施
	総会への参加・自治会長交代時の連携
老人クラブ	夏祭り・ラジオ体操・バス旅行・園芸の集いの共催
	食事会・敬老祝いの共同開催
	高齢者・障がい者の見守り活動への協力
	輪投げ大会・さつき展・菊花展の開催
	ふれあい喫茶・もちつき・ひなまつりなど行事参加
	清掃活動（公園・落ち葉など）の共同実施
	親睦旅行・老若男女の交流行事
	年末もちの配布
子ども会	ラジオ体操・古紙回収などの共同実施
	夏祭り・秋祭りへの参加・開催
	行事の連携・参加者募集・助成金活用
	ふれあい喫茶への協力
	子どもを中心とした世代間交流の推進
	年間4～6回の行事共催
PTA	夏祭り・もちつき大会の共催
	通学路の見守り・交通安全活動の連携
	防災訓練の共同実施
	学校行事（スプリングフェスタ等）への参加
	同－アルテピアグループとしての情報共有・連携
民生・児童委員	高齢者・一人暮らし世帯の見守り・訪問活動
	老人給食・食事会の共同実施
	高齢者サロン・子育てサロンの運営
	緊急避難時要援護者情報の交換・共有
	要介護状態の方のあんしんすこやかセンターへのつなぎ
	高齢者・子どもの情報共有
	個別避難計画の策定支援
社協・福祉施設等	フレイル予防教室・認知症予防・茶話会の開催
	高齢者見守り・地域ケア会議・要援護者対応の連携
	ボランティアの紹介・派遣
	健康講座・骨密度測定・認知症講話の開催

	お散歩会の毎月実施（バス提供・健康管理）
	健康サロン・カラオケ茶話会の共催
	障害者福祉施設の地域まつりへの参加
	学童保育との夏祭り交流・役員招致
	会報紙のコピー協力
学校	防災訓練・クリーン作戦への学校生徒の参加
	盆踊り・地域行事への学校参加
	学校運営協議会（コミュニティスクール）への参加
	大学生による防災情報誌発行・防災教室参加
	看護大学学生への老人世帯紹介・交流
	大学・神戸松蔭大学の学生団体との地域イベント共催
	地域の田植え・稲刈りへの保育園・小学校の参加
	公園清掃・年末大掃除への学校参加
	中学校「おたすけ隊」へのイベント手伝い依頼
公民館・児童館等	夏祭り・餅つき大会・地域行事への協力
	あんしんすこやかセンターの健康講座の会場提供
	受付業務（月1回）の担当
	地域の子どもの見守り・行事支援
	こども食堂・蕎麦打ち教室の実施
	福祉センターの管理・運営への参加
NPO等	コープ閉店候補からの取り下げ運動・マルシェ開催
	月1回の連合会議・回覧物・掲示物の共有
	公園清掃・空家対策・隣家樹木越境対応
	震災語り部の経験継承（高校生への伝達）
	竹林伐採・整備の共同実施
	ふれあいキッサの共同運営
	清掃活動
	こども食堂・子ども給食の支援
事業者・商店等	夏祭り・盆踊りのやぐら設置・設営（業者委託）
	コープ閉店候補取り下げ・買い支え運動
	草刈り・低木剪定の作業依頼
	防犯カメラ設置・危険木伐採への協力（市建設）
	防災士派遣による土砂災害講演会の実施（神戸市）
	排水ポンプ設置対応（下水道局）
	要援護者マッピング・ワークショップ（市住環境整備公社）
	観光協会主催の桜まつりへの屋台出店
	クリーンアップ作戦（商店街振興組合）
	防犯カメラ録画ルールの確認（警察署）
	消火器・AED訓練・防火訓練（消防署・消防団）
	特殊詐欺防止活動（信用金庫）

③ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問 16）

他団体と今後連携して実現したいこと（アイデア）として次のような回答があげられた。

図表 23 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）

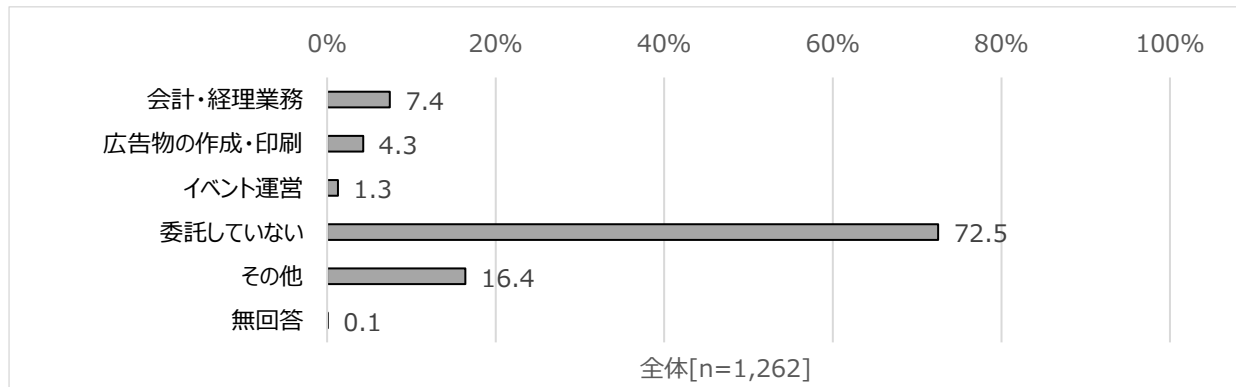
連携団体	他の団体と今後連携して取り組みたいこと
自治体	近隣・周辺自治会との情報交換・地域課題の共有と議論
	隣接自治会との共同イベント開催（夏祭り、盆踊り、クリスマス会、餅つき大会等）
	防災訓練・防犯活動の合同実施
	資源回収の共同実施
	高齢者対策の成功事例共有・会員拡大策の相互学習
	自治会活動の連合化・一本化、統廃合の検討
	役員高齢化対策の情報共有
	不可分の共有地を有する自治会との情報交換
婦人会	赤い羽根募金活動での連携
他のふれまち協	一人暮らし老人の居場所づくり
	地域の防犯・見守り活動
	お祭りの共同開催
	自治会未加入世帯との防犯・防災活動の理解促進
	各種団体の整理・コンパクト化による次世代が取り組みやすい地域組織の構築
	少子高齢化の中で継続できる地域活動についての整理・再編
まちづくり協議会	地域課題の共有化・対応策の検討
	地域活性化イベントの実施
	より良い地域環境づくりへの参画
	アンケートや具体的な解決策の検討
	ふれあいのまちづくり協議会を主体とした地域諸団体の整理・コンパクト化
防災福祉コミュニティ	地域での自主防災意識の向上
	防火・消火訓練の実施
	防災訓練とお祭りイベントの合同開催
	防コミを中心とした各団体を巻き込んだ総合防災訓練の実施
	防災活動・地域防災意識の強化
青少年育成協議会	地域ぐるみのあいさつ・声かけ運動
	行事（ハロウィン、バーベキュー等）の共同開催
	子どもと保護者を含めた育成活動の強化
	会議への参加・連携強化
老人クラブ	老人会行事への積極的な参加・連携
	高齢者の活性化・生きがい活動への参画
	人とのつながりづくり
	認知症について考える取り組み（シニアクラブ・青年会との連携）
子ども会	ふれあい喫茶への協力
	祭りの運営への参画・秋祭りへの参加
	子どもを中心とした大人達の連携強化
	世代間交流（義理のジジババ体験会など）
	学習補助
PTA	通学路の安全確保・見守り活動（PTAの担い手確保の課題あり）

民生・児童委員	高齢者宅の見守りと早期対応・情報共有
	独居老人・認知症高齢者への対応
	個別避難計画の策定など要支援避難者への対策の具体化
	地域の活性化に向けた連携
	生活実態の把握
社協・福祉施設等	認知症の早期発見・広報活動（あんしんすこやかセンターとの連携）
	独居・ひとり暮らし高齢者の見守り方の習得・連携
	高齢者対策・介護予防体操の普及
	病院・介護施設との認知症理解促進・広報活動
	地域の福祉事業所との高齢者支援・見守り連携
	社会福祉協議会との高齢者対策
	フリースクールへの情報提供
学校	避難所となる小学校との防災マニュアルづくり・鍵の共有
	神戸活（スポーツクラブ）の運動場使用に関する連携
	公園清掃の共同実施
	人的交流による地域の活性化
	大学・新人寮を活用した子ども向けワークショップ・イベントの開催
	神戸高専との防災訓練・ボランティア活動（指定避難場所としての活用）
公民館・児童館等	集会場所・施設の貸出・施設使用料の軽減
	地域の公園を活用したイベント企画（健康遊具・屋根付き設備設置等）
NPO等	地域イベント・公園活用イベントの開催
	不用品のリサイクル活動
	独居老人の困り事支援（家具の移動等）
	ホームページ・SNS運用の支援・自治会活動の見える化・DX化
	盆踊り・餅つきなど地域行事の運営協力
	阪急バスの継続運行・自治会員減少対策・役員負担軽減
	まちづくりへの取り組み支援
	ボランティア団体との人材確保・新しい活動の展開
	地域遺産の維持管理
事業者・商店等	商店街との車両通行時間の取り決め
	地元企業・商店とのMAP・広報誌作成、お祭りでの連携
	地域活動への企業ボランティア参加（美化活動等）
	携帯電話業者とのはばたんペイ活用・シルバーライン構築
	スーパーとの買物用送迎車の実現
	災害時の町内企業との連携
	エアウォレットを活用した会費支払いのキャッシュレス化
	経営コンサルタントとの自治会業務の効率化
	保険会社との自治会館修繕積立金の資産運用
	地域企業・事業者・商店との町の活性化

④外部に委託している業務（問 17）

外部に委託している業務は、「委託していない」が 72.5%最も多く、次いで「その他」が 16.4%、「会計・経理業務」が 7.4%などとなっている。

図表 24 外部に委託している業務〔複数回答〕



⑤外部に委託している業務の具体的な内容（問 17）

外部に委託している業務の具体的な内容は、次のような回答があげられた。

図表 25 外部委託業務の具体的な内容

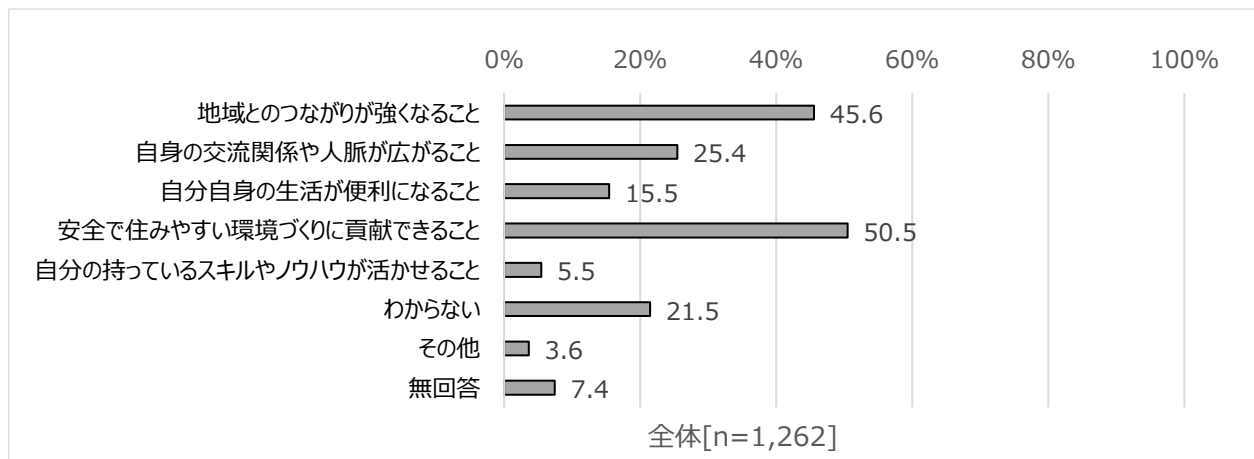
カテゴリ	外部委託の具体的な内容
施設・設備管理	マンション管理全般（管理会社）
	建物内清掃・共用部清掃
	設備点検・修繕対応
	防犯カメラの設置・保守
	街灯・設備の維持管理
	排水管清掃
環境整備・清掃	公園・道路・敷地の清掃
	草刈り・雑草除去
	樹木剪定・植栽管理
	ゴミステーション清掃
	墓地清掃
会計・資金管理	会費徴収（口座振替・代行）
	管理費・修繕積立金の管理
	会計処理・経理入力
	税務（税理士による申告）
事務・運営サポート	理事会・総会資料作成
	議事録作成
	総会運営支援
	会議コーディネート
印刷・広報	総会議案書・議事録の印刷
	広報誌・会報の印刷
	チラシ・ポスター制作
	カレンダー作成
イベント運営	会場設営・撤去
	祭りの運営補助

防災・企画支援	キッチンカー手配
	イベント進行
	防災訓練の企画・資料作成
	セミナー・講習会運営
IT・システム関連	防災点検
	HPサーバー運用
	会計システム導入
	情報共有ツール（間接的）
コンサル・調整機能	会議のファシリテーション
	課題整理・解決支援

⑥地域住民が活動に参加するメリット（問 18）

地域住民が活動に参加するメリットは「安全で住みやすい環境づくりに貢献できること」が 50.5%と最も多く、次いで「地域とのつながりが強くなること」が 45.6%、「自身の交流関係や人脈が広がること」が 25.4%などとなっている。

図表 26 地域住民が活動に参加するメリット〔複数回答〕

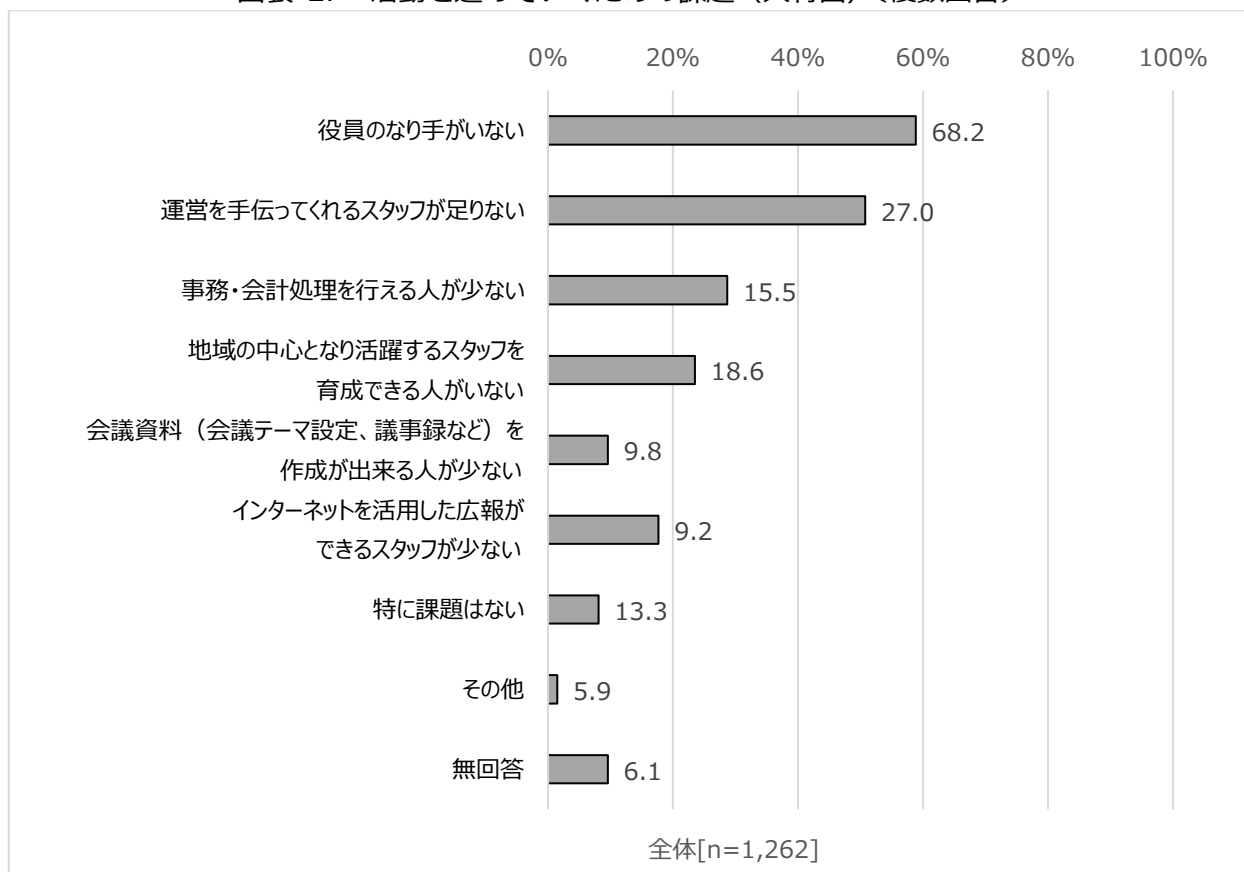


(5) 活動を進めていくための課題

①活動を進めていくための課題（人材面）（問 19①）

活動を進めていくための課題（人材面）は、「役員のなり手がいない」が68.2%と最も多く、次いで「運営を手伝ってくれるスタッフが足りない」が27.0%、「事務・会計処理を行える人が少ない」が15.5%などとなっている。

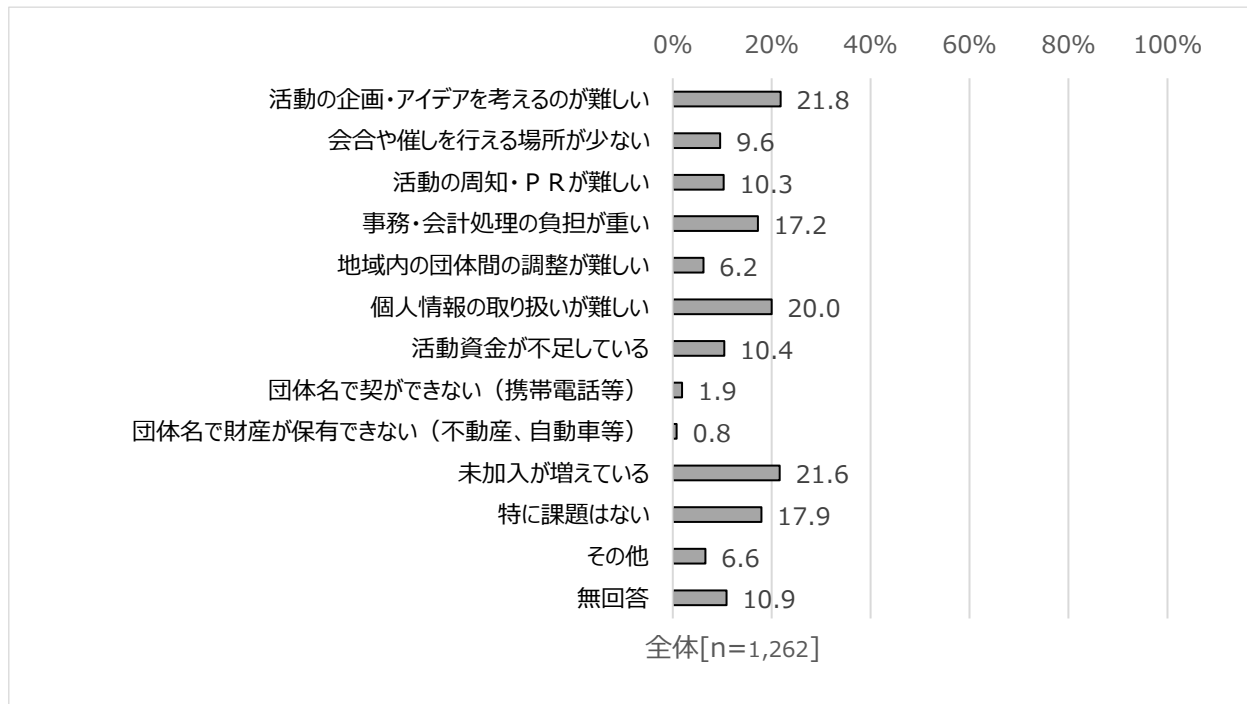
図表 27 活動を進めていくための課題（人材面）〔複数回答〕



② 活動を進めていくための課題（運営面）（問 19②）

活動を進めていくための課題（運営面）は、「活動の企画・アイデアを考えるのが難しい」が21.8%と最も多く、次いで「未加入が増えている」が21.6%、「個人情報の取り扱いが難しい」が20.0%などとなっている。

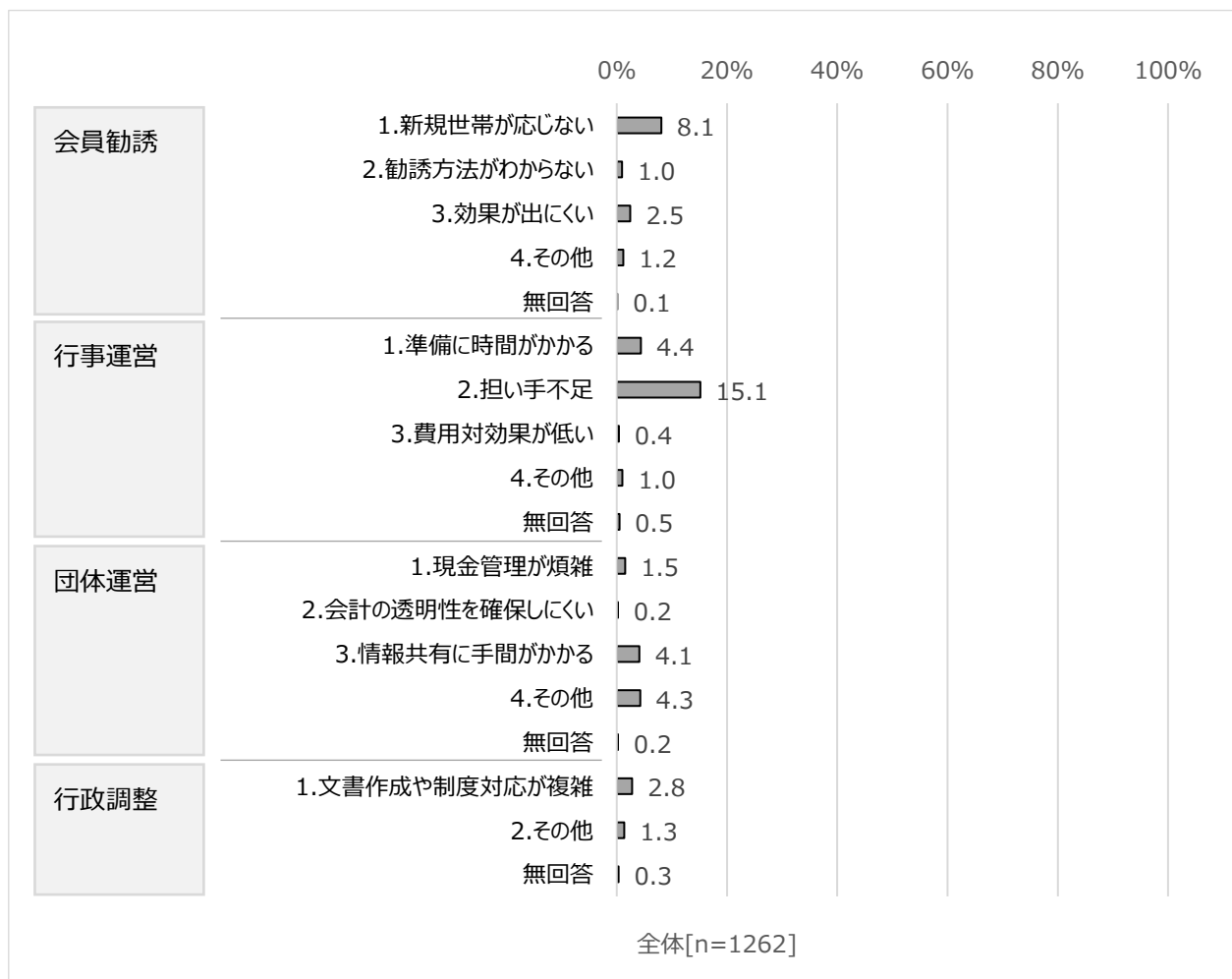
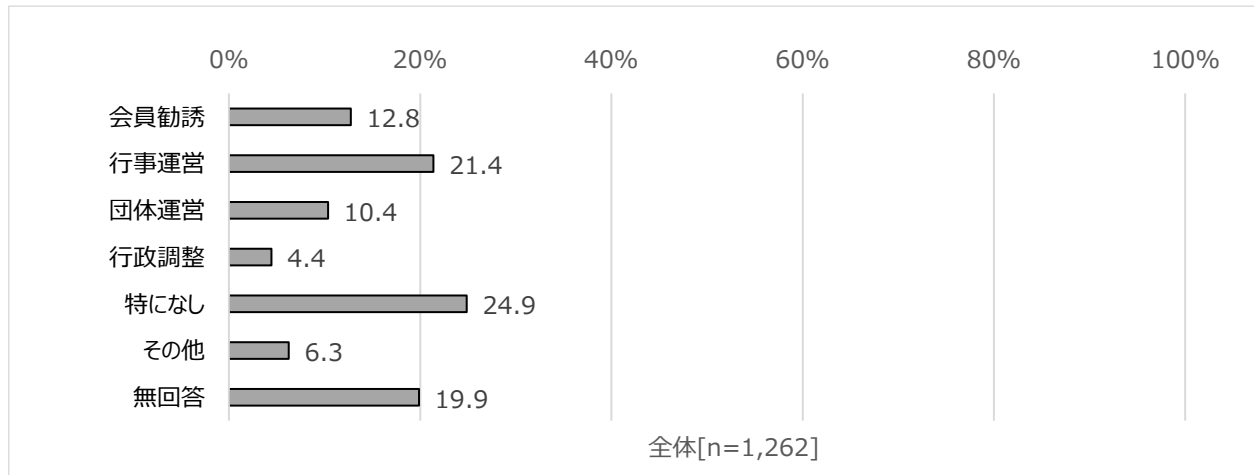
図表 28 活動を進めていくための課題（運営面）〔複数回答〕



③役員や中心メンバーの業務負担（問 20）

活役員や中心メンバーの業務負担は「行事運営2.担い手不足」が15.1%と最も多く、次いで「会員勧誘1.新規世帯が応じない」が8.1%、「行事運営1.準備に時間がかかる」が4.4%などとなっている。

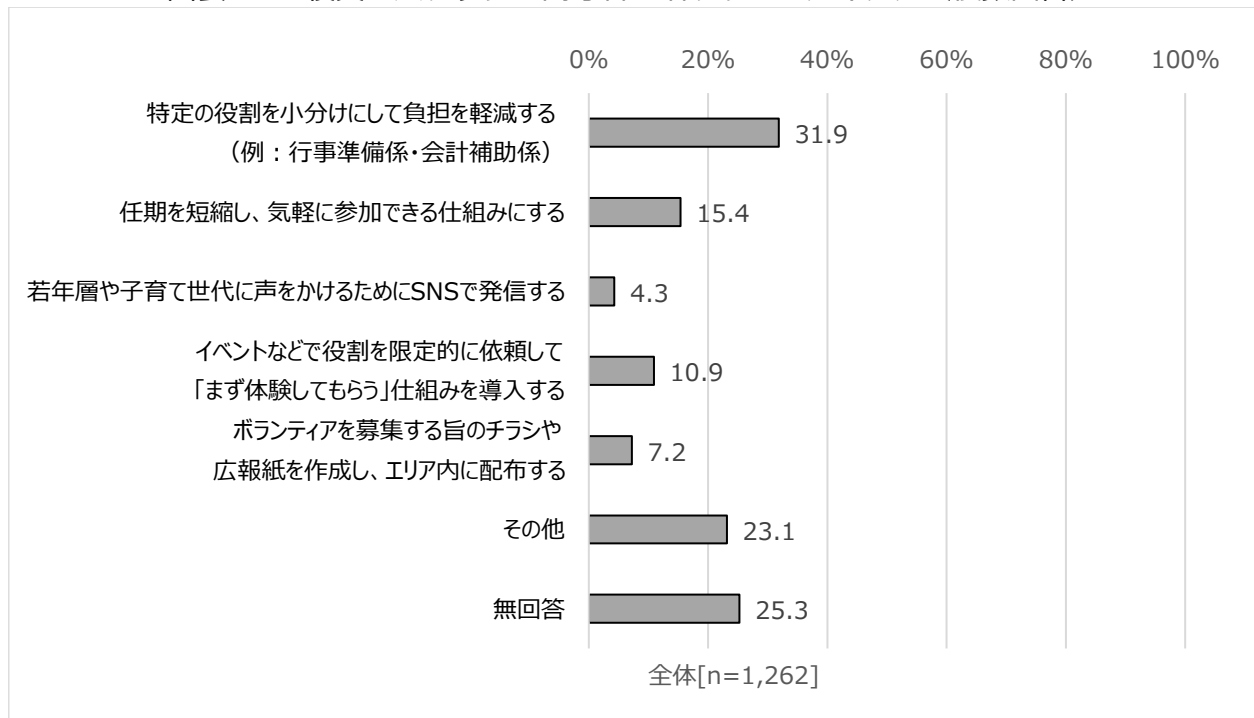
図表 29 役員や中心メンバーの業務負担



④役員・スタッフの関与者を増やすためアイデア（問 21）

役員・スタッフの関与者を増やすためアイデアは、「特定の役割を小分けにして負担を軽減する（例：行事準備係・会計補助係）」が 31.9%と最も多く、次いで「その他」が 23.1%「任期を短縮し、気軽に参加できる仕組みにする」が 15.4%などとなっている。

図表 30 役員・スタッフの関与者を増やすためアイデア〔複数回答〕

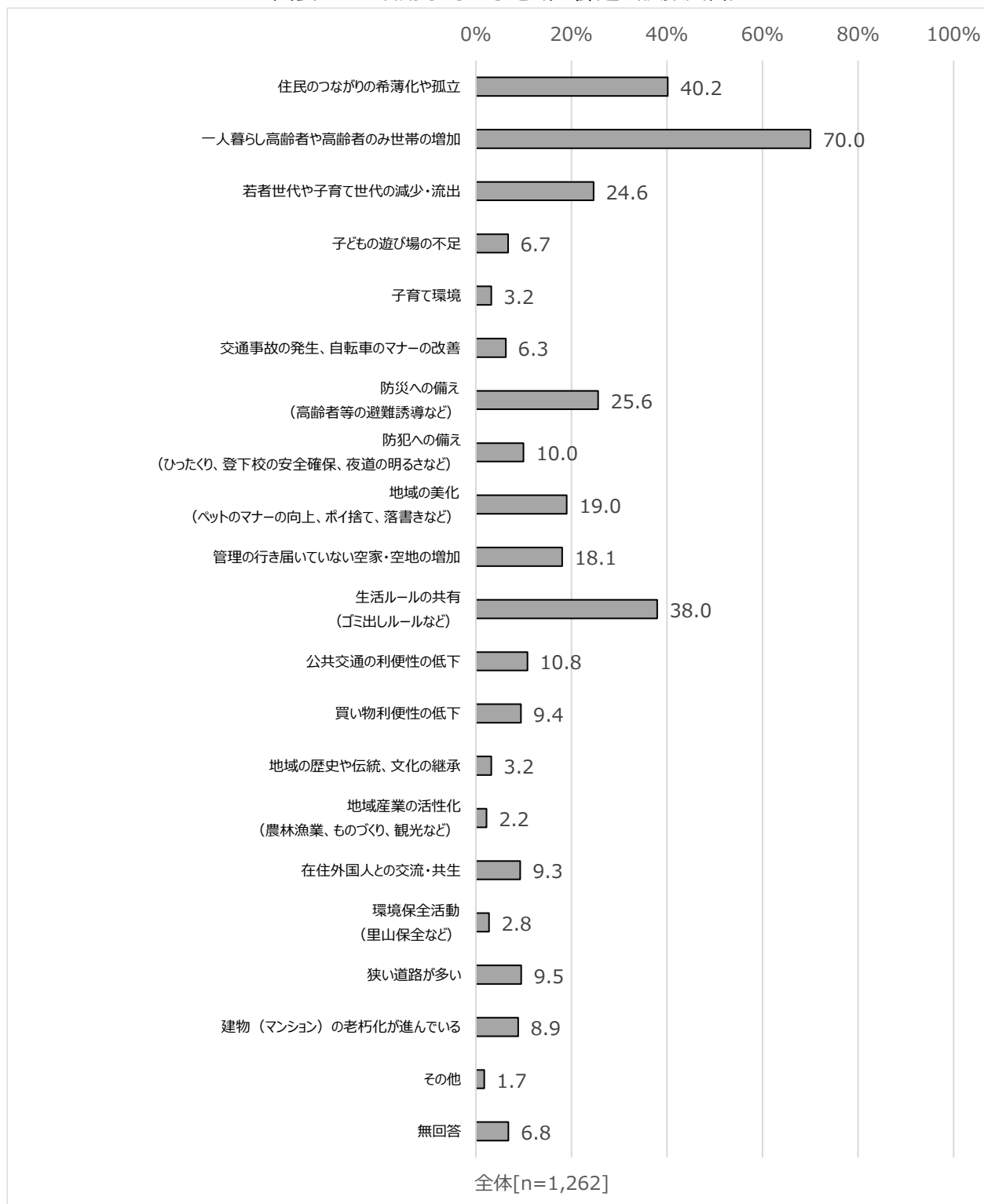


(6) 団体が活動している地域の状況等

①活動している地域の課題（問 22）

活動している地域の課題は、「一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加」が70.0%と最も多く、次いで「住民のつながりの希薄化や孤立」が40.2%、「生活ルールの共有（ゴミ出しルールなど）」が38.0%などとなっている。

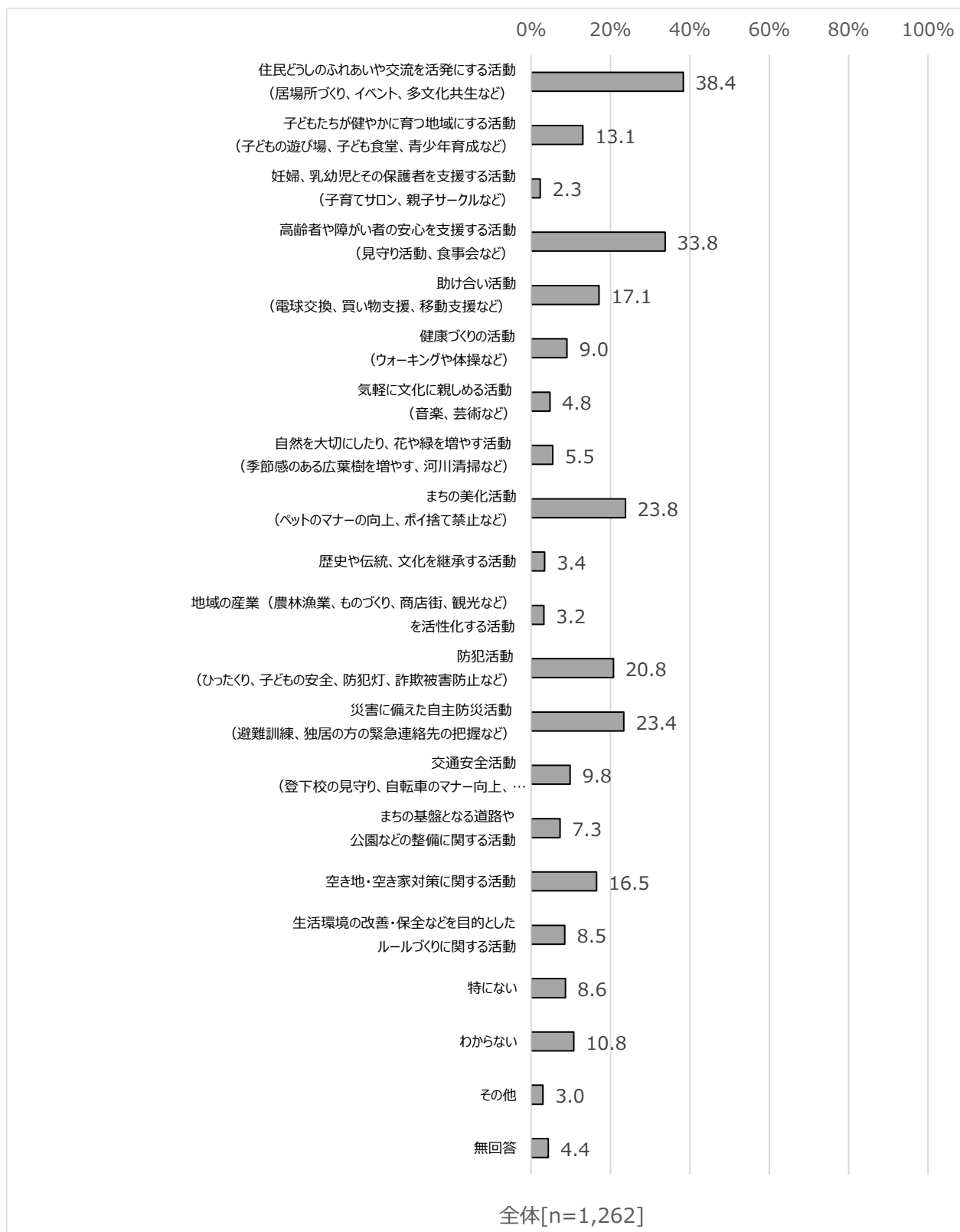
図表 31 活動している地域の課題〔複数回答〕



②課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問 23）

課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なことは、「住民どうしのふれあいや交流を活発にする活動（居場所づくり、イベント、多文化共生など）」が38.4%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者の安心を支援する活動（見守り活動、食事会など）」が33.8%、「まちの美化活動（ペットのマナーの向上、ポイ捨て禁止など）」が23.8%などとなっている。

図表 32 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと〔複数回答〕

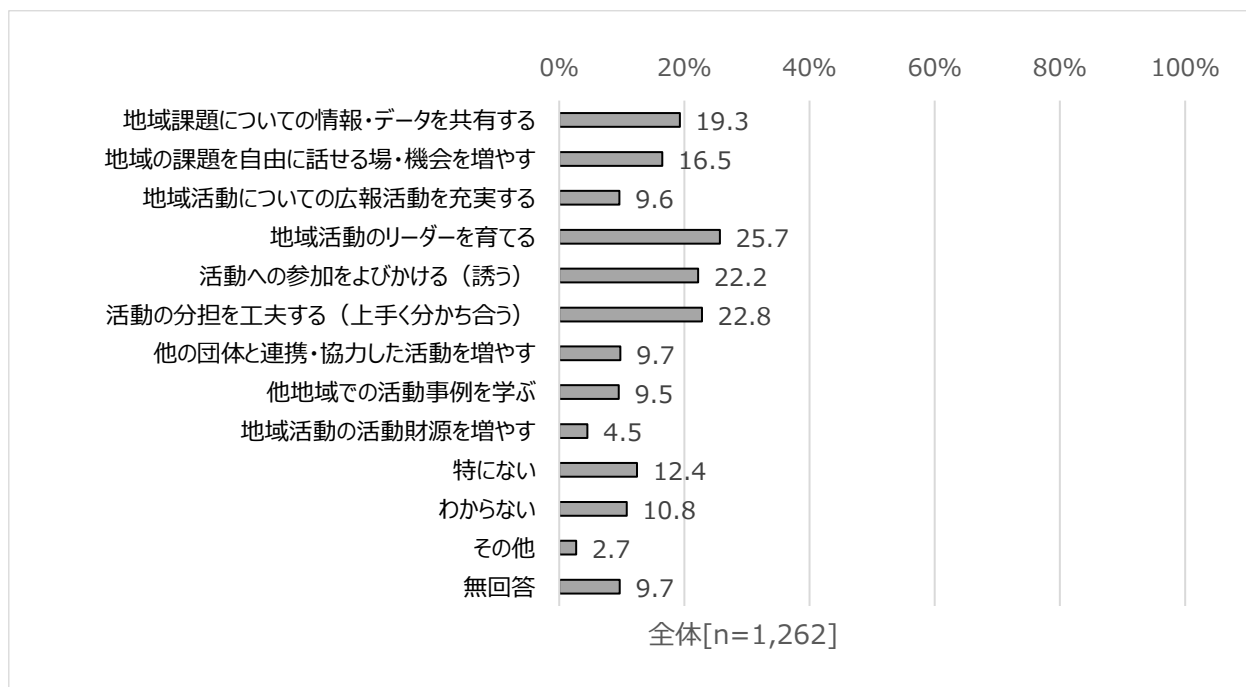


(7) 今後の活動に向けて

①団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問 24）

団体の活動を活発にしていくために必要なことは、「地域活動のリーダーを育てる」が25.7%と最も多く、次いで「活動の分担を工夫する（上手く分かち合う）」が22.8%、「活動への参加をよびかける（誘う）」が22.2%などとなっている。

図表 33 団体の活動を活発にしていくために必要なこと〔複数回答〕

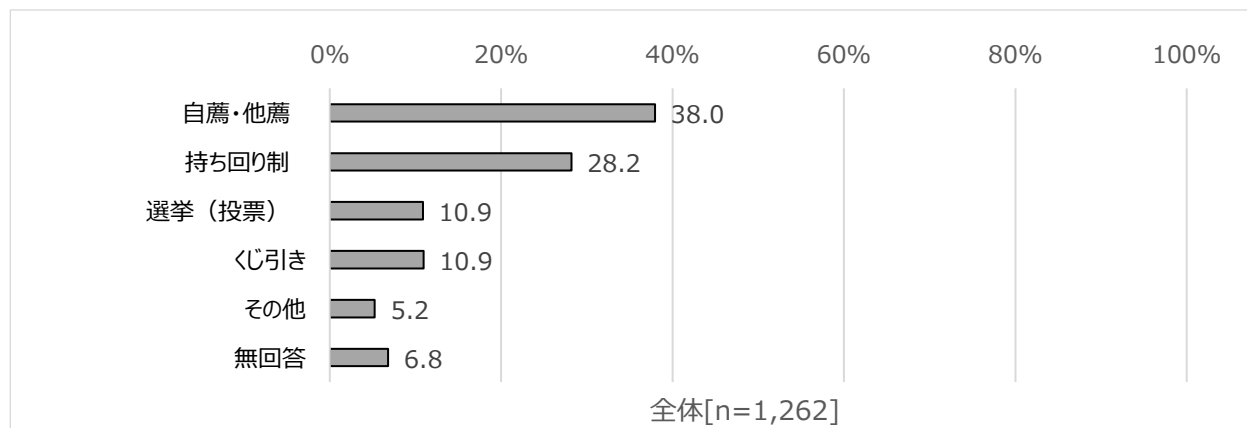


(8) 代表の活動状況

①代表の選出方法（問 25）

代表の選出方法は、「自薦・他薦」が38.0%と最も多く、次いで「持ち回り制」が28.2%、「選挙（投票）」と「くじ引き」が10.9%などとなっている。

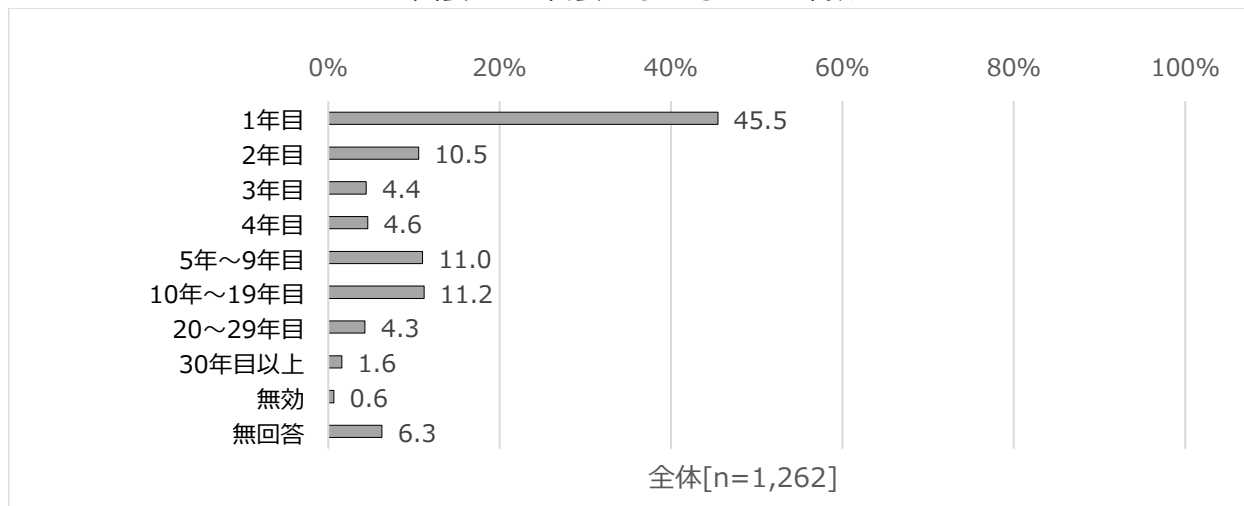
図表 34 代表の選出方法



②代表になってからの年数（問 26）

代表になってからの年数は、「1年目」が45.5%と最も多く、次いで「10年～19年目」が11.2%、「5年～9年目」が11.0%などとなっている。

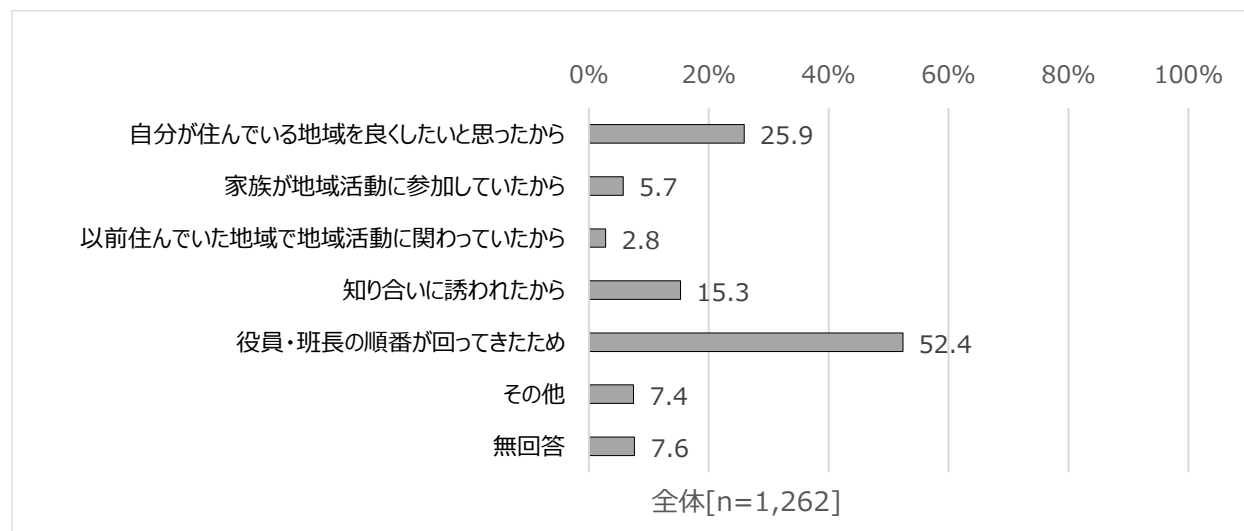
図表 35 代表になってからの年数



③地域活動の担い手として参加したきっかけ（問 27）

地域活動の担い手として参加したきっかけは、「役員・班長の順番が回ってきたため」が52.4%と最も多く、次いで「自分が住んでいる地域を良くしたいと思ったから」が25.9%、「知り合いに誘われたから」が15.3%などとなっている。

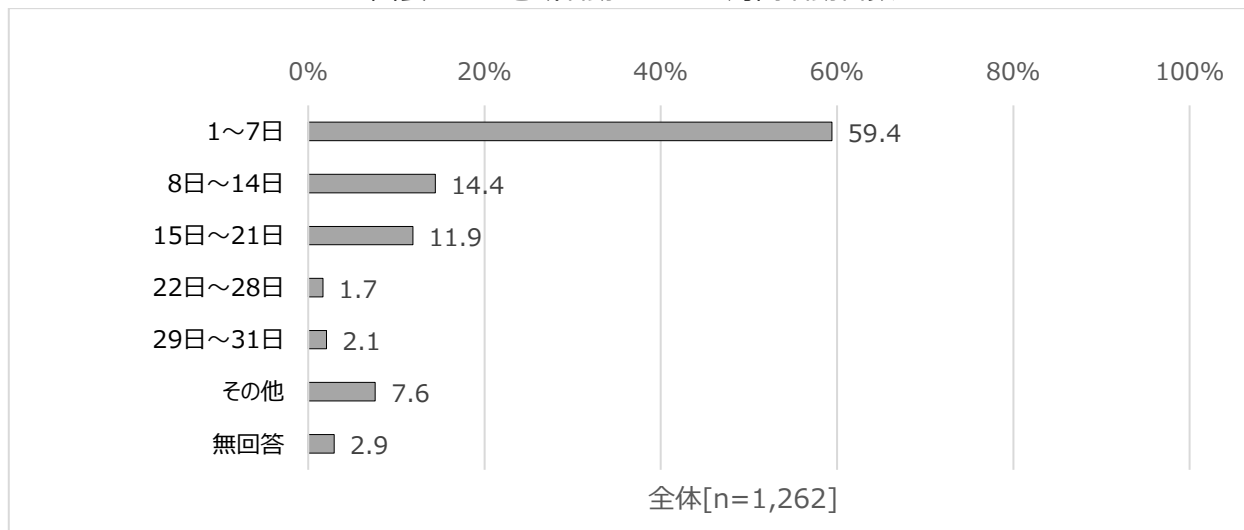
図表 36 地域活動の担い手として参加したきっかけ〔複数回答〕



④ 地域活動のための月間活動日数（問 28）

地域活動のための月間活動日数は、「1～7日」が59.4%と最も多く、次いで「8～14日」が14.4%、「15～21日」が11.9%などとなっている。

図表 37 地域活動のための月間活動日数

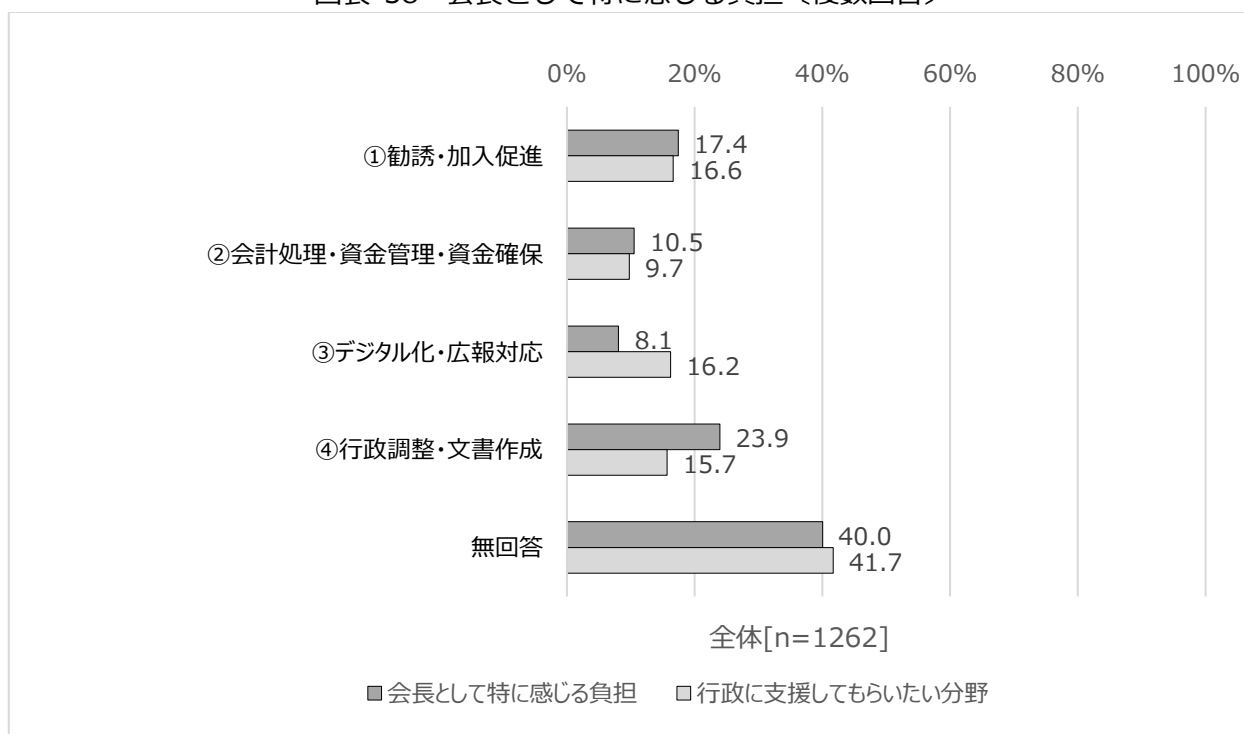


⑤ 会長として特に感じる負担と行政に支援してもらいたい分野（問 29）

会長として特に感じる負担は、「行政調整・文書作成」が23.9%と最も多く、次いで「勧誘・加入促進」が17.4%、「会計処理・資金管理・資金確保」が10.5%などとなっている。

支援してもらいたい分野は、「勧誘・加入促進」が16.6%と最も多く、次いで「デジタル化・広報対応」が16.2%、「行政調整・文書作成」が15.7%などとなっている。

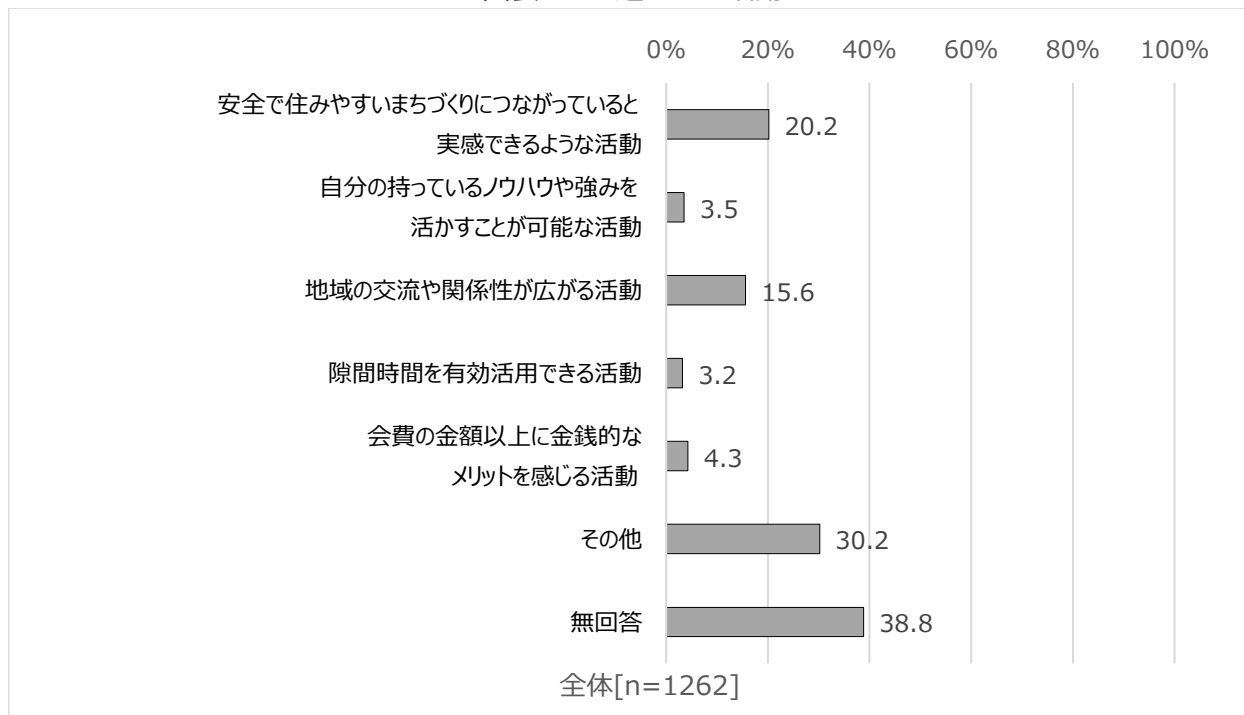
図表 38 会長として特に感じる負担〔複数回答〕



⑥他団体や地域住民に勧めたい活動（問 30）

他団体や地域住民に勧めたい活動は、「その他」が30.2%と最も多く、次いで「安全で住みやすいまちづくりにつながっていると実感できるような活動」が20.2%、「地域の交流や関係性が広がる活動」が15.6%などとなっている。

図表 39 進めたい活動



⑦他団体や地域住民に勧めたい活動（問 30）

他団体や地域住民に勧めたい活動は、次のような回答があげられた。

図表 40 勧めたい具体的な活動

カテゴリ	勧めたい具体的な活動
環境美化・地域整備	地域清掃・公園清掃・草刈り
	ゴミステーション管理・当番制運用・クリーン作戦・資源回収
	花壇整備・植栽・里山管理
防災・防犯・安全対策	防災訓練・避難訓練・安否確認
	防犯パトロール・夜間巡回・防犯カメラ設置
	見守り活動（子ども・高齢者）・詐欺防止・交通安全活動
地域交流・イベント	祭り（盆踊り・だんじり・地蔵盆）
	季節イベント（クリスマス・ハロウィン）
	運動会・レクリエーション
	旅行・親睦会・マルシェ
多世代交流・見守り	高齢者見守り・家庭訪問・子ども見守り活動
	挨拶運動
	ふれあい喫茶・サロン
	フレイル予防・健康体操
	健康講座・介護予防・医療・買い物送迎支援

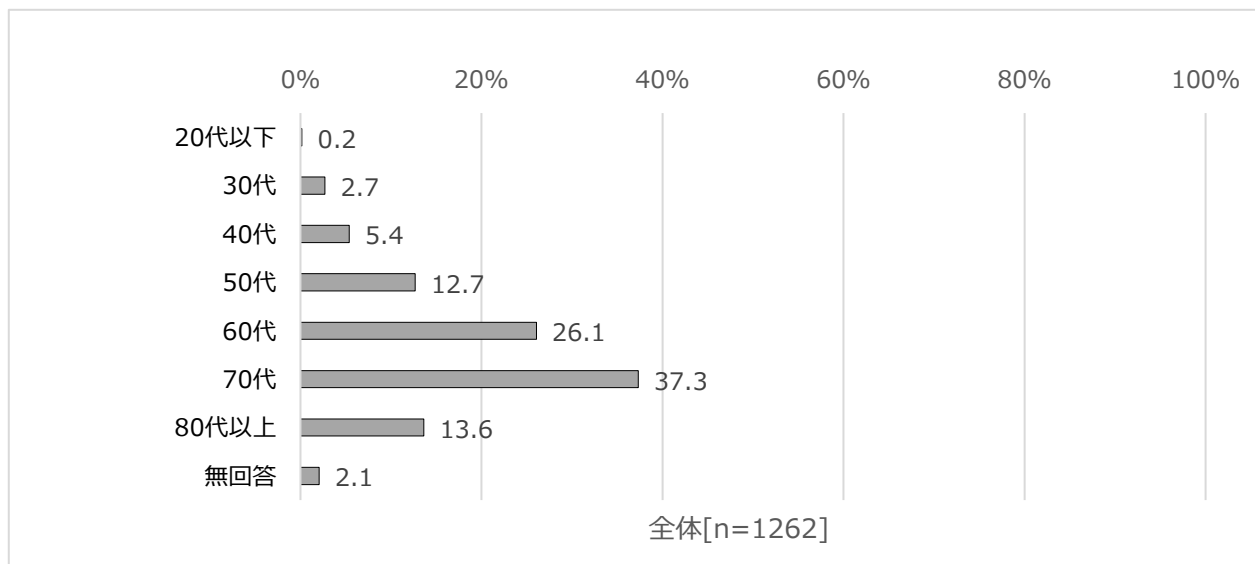
	給食会・食事支援
情報共有・DX化	回覧板の電子化（LINE WORKS等）
	広報誌発行
	グループウェア活用
	情報の即時共有
参加促進・運営改善	役割の分業化・負担軽減
	スポット参加（自由参加型）
	報酬・インセンティブ付与
	フリートーク・意見交換の場
地域課題対応・行政連携	苦情対応（ゴミ・騒音・動物など）
	行政への要望・改善活動
	インフラ整備（街灯・道路・交差点）
	災害時支援体制構築
自然・景観づくり	緑地管理・里山整備
	桜植樹・景観づくり
	イルミネーション
学び・文化活動	講演会・セミナー
	スマホ教室・趣味の会
	演奏会・文化イベント

(9) 代表の状況

①代表（回答者）の状況-年代（問 31①）

年代は、「70代」が37.3%と最も多く、次いで「60代」が26.1%、「50代以上」が12.7%などとなっている。

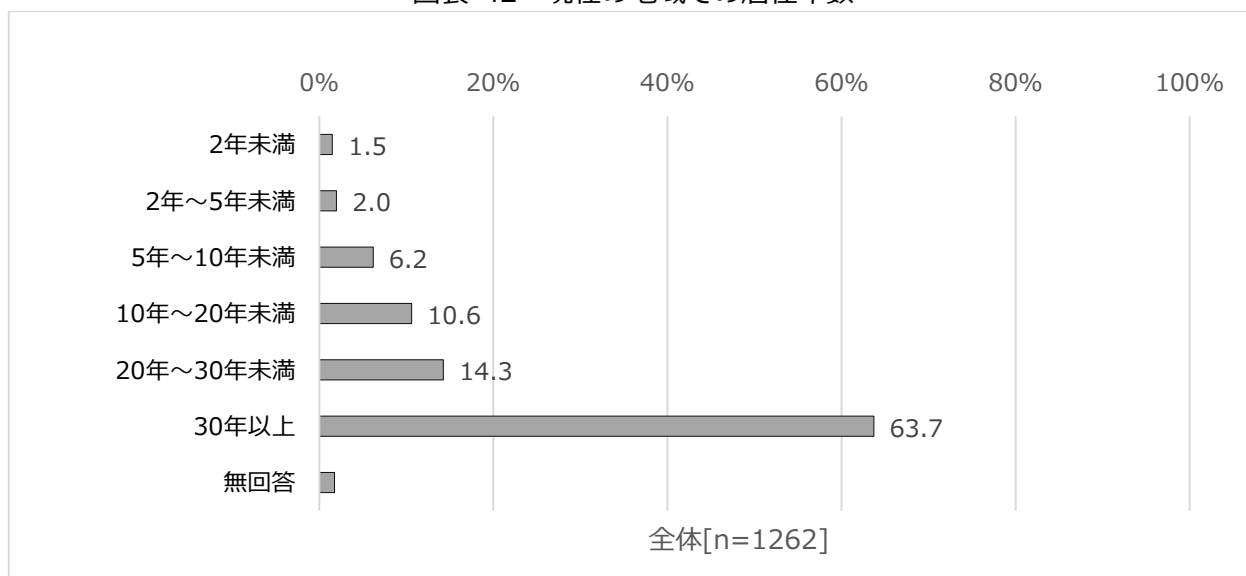
図表 41 年代



②代表（回答者）の状況-現在の地域（小学校区）での居住年数（問 31②）

現在の地域での居住年数は、「30年以上」が63.7%と最も多く、次いで「20年～30年未満」が14.3%、「10年～20年未満」が10.6%などとなっている。

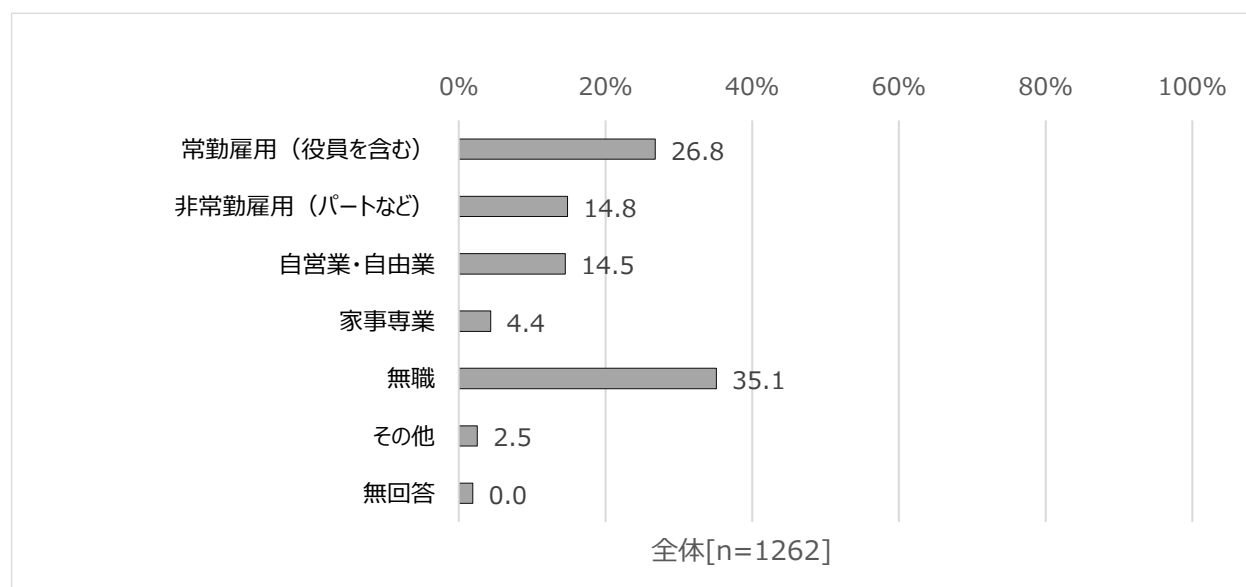
図表 42 現在の地域での居住年数



③代表（回答者）の状況-就業状況（問 31③）

就業状況は、「無職」が35.1%と最も多く、次いで「常勤雇用（役員を含む）」が26.8%、「非常勤雇用（パートなど）」が14.8%などとなっている。

図表 43 就業状況



(10) 自由意見（その他）

①加入促進のための取り組み（問2）

区分	主なご意見
自動加入	・ 入居・転居と同時に全世帯が自動的に加入 ・ 管理組合理約・団地規約・区分所有法等により加入が義務付けられている ・ 市営住宅・県営住宅・UR・分譲マンションなどで、入居時加入が前提 ・ 管理組合が自治会機能を兼ねており、全戸加入となっている ・ 商店街や団地形成時から、加入が暗黙・明示のルールになっている
声掛けによる促進	・ 転入時に会長・役員・班長・ブロック委員が訪問し説明 ・ ゴミ出し方法や生活ルール説明とあわせて加入を案内 ・ 入居時に入会届・規約・ルールブックを配布 ・ 不動産業者や管理組合を通じて加入を働きかけ
団体単位	・ 管理組合・自治会・町内会など団体単位での加入 ・ 個人への加入促進は行わず、団体代表者が参画 ・ 管理組合が実質的に自治会の役割を担っている
広報・PR	・ 掲示板へのポスター・掲示 ・ 加入促進チラシの作成・全戸配布 ・ 区内清掃・大掃除時にチラシ配布 ・ 年4回程度の全体朝礼で周知
イベント	・ 夏祭り、敬老行事、季節行事などで活動をアピール ・ 地域イベントは未加入世帯も参加可能とし関心を高める ・ 防犯活動、ゴミステーション管理など生活密着型活動の実施
形骸化	・ 自治会が消滅・活動停止状態 ・ 加入している認識がない住民がいる ・ 会費負担を理由に脱退者が増加 ・ 商業地区などで加入促進が難しい ・ 転入者がほとんどいない・新規住民がいない

②退会を防ぐための取り組み（問3）

区分	主なご意見
自動加入	・ 区分所有法・管理組合理約・団地規約により退会不可 ・ 分譲団地・マンションの所有者は自動的に会員 ・ 退去・転居時のみ退会となる仕組み
負担軽減	・ 清掃・草刈り・普請など重労働の縮小・廃止 ・ 班の統合による班長・役員の引き受け回数削減 ・ 掲示板廃止、会合・総会の縮小や未再開 ・ 活動を必要最小限に抑える方針
生活利便性と関連づける	・ 自治会員専用ゴミステーションの利用 ・ 年末のゴミ袋配布など実益の提供 ・ 清掃活動時の礼品は会員のみ対象 ・ 防犯情報など生活に直結する情報提供
情報共有	・ 自治会・協議会の活動内容を定期的に周知 ・ 回覧板、市広報の共有に特化 ・ 行政・加入団体との情報共有

区分	主なご意見
個別対応	・ 長期不在世帯への休会制度 ・ 障害者世帯の清掃免除 ・ 夜間不在世帯・高齢世帯への配慮 ・ 活動会員・役員が説明し理解を求める ・ 問題があれば話し合いで解決する姿勢

③退会を防ぐための取り組みで効果があったもの（問3）

区分	主なご意見
制度構築	・ 全世帯加入が原則・全戸自動加入 ・ 区分所有法・共有地・管理組合一体化により退会不可 ・ 管理組合と連携・一体運営 ・ 退会希望者がいない／未加入を防げた事例あり
金銭的負担	・ 自治会費ゼロ／会費なし・カンパ制 ・ 保全活動出不足料の廃止 ・ 資源回収費などによる運営
実益提供	・ 年末のゴミ袋配布 ・ 自治会費相当の還元（敬老祝い等） ・ クリーンステーションの管理・清掃体制 ・ 防犯情報の積極的提供
負担軽減	・ 行事数を減らし、年間行事を固定・簡素化 ・ 屋外清掃の外注化 ・ 清掃当番制・年1回のクリーン作戦 ・ 会合・総会を再開せず負担軽減
情報共有	・ 自治会・協議委員会の活動内容を定期的に周知 ・ 情報共有するためのITツールを導入 ・ 全会員アンケート（要望調査）の実施 ・ 行政からの広報共有

④退会を防ぐための取り組みで効果がなかったもの（問3）

区分	主なご意見
周知	・ 若い世代に自治会への興味を持ってもらう
制度構築	・ 区分所有法により退会不可

⑤実施している活動/休止している活動/今後力を入れていきたい活動（問4）

区分	主なご意見
実施してる活動	掲示板の管理・掲示（広報誌・チラシ掲示含む）/ホームページ作成、LINE回覧、グループウェアによる情報発信・共有/役員会・理事会の開催（月1回程度）、総会（年1回）/神戸市自治会連絡協議会・連合自治会との連携、行事参加/公園清掃（定期・月1回・年数回・クリーン作戦含む）/共有地の草刈り、植栽管理、剪定（低木・中高木）/私道・街灯の管理・設置/ゴミステーションの美化・管理/管理会社への業務委託/建築協定の制定・事務・管理/マンション・団地管理に関する業務 登下校時の見守り活動/犯目的のイルミネーション設置/災害時要援護者登録およびフォロー/年末夜警への参加/夏休みラジオ体操/教室（すこやか体操等） もちつき大会/クリスマス会・公園イルミネーション/七夕まつり、花見会

区分	主なご意見
	バーベキュー大会/音楽会/ジックショー等の催し/年度末のお楽しみ会（ビンゴ等） 寺の行事対応/図書コーナーの運営/高齢者食堂支援/小学校新1年生へのお祝い金支給/ふれあいのまちづくり協議会への協力/地中化設備に関する住民対応・関係機関への調整/里山・林の育成管理活動/隣地トラブル対応（庭木越境、蜂の巣等） 団地・地域内の個別課題対応/
休止している活動	いちご狩り/もちつき大会（年末含む）/自治会費の集金/世帯間の交流 懇親会・交流会・親睦行事/子ども会活動/街灯の増設/野良猫対策 私道の公道化/高齢者向けバス停の追加
今後力を入れたい活動	地域を走るバス路線の便数確保/地中化設備に関する住民対応・関係機関（関電等）への調整/里山林の育成・管理活動/ラジオ体操/ゴミステーション（2か所）の美化・管理/防災・減災に向けた自助努力の推進/災害時要援護者の登録およびフォロー 安否確認の取組/学校との連携/住民間の交流を深める行事/親睦行事 餅つき大会/掲示板の管理/オープンチャットによる情報共有（参加者増加） SNSを活用した情報提供・意見収集/連絡網のデジタル化/現在行っている行事の継続/下の世代向けイベントの実施検討/会員の負担軽減/世代交代への対応

⑥デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問 10）

区分	主なご意見
活用状況	パソコンによる書類作成・連絡文書作成/自治会ニュースの発行（月1回）・紙配布紙の回覧・掲示板（看板）掲示/用件をコピーした資料の配付 会員同士の電話連絡/LINEの利用/LINE WORKS（全員参加ではない） オープンチャットによる会員向け情報発信/LINEによる防犯ネット 管理事務所・委託管理会社との業務連絡/管理会社との連携 行政を通じたデジタル情報発信/表計算ソフトを用いた会計処理 ネットバンキングの活用/個人レベルで対応できる人が実施
活用意向	LINEの利用/電子メールでの連絡（対応可能な人のみ）/SNSによる組合員への情報伝達（将来的にペーパーレス化したい）/電子回覧板/行政を通じたデジタル情報の広報強化/組合員への連絡手段の見直し/役員間でのスケジュール・資料共有（kintone等の活用検討）/AIを活用した議事録作成/管理外部委託会社との連携 高齢者が多いため、直接対面での説明・連絡が中心

⑦デジタル技術活用のために参加したい講習会（問 12）

区分	主なご意見
スマホ・SNS活用	・ スマホ教室（壮年・高齢者向け） ・ LINE公式アカウントの活用方法 ・ 電子回覧・インターネット回覧板の活用 ・ YouTubeの活用事例紹介 ・ SNS・動画等のデジタルツール活用全般
自治会運営	・ 自治会の運営方法 ・ 自治会役員の実務・管理能力向上 ・ 組合員・自治会員のニーズ把握方法 ・ 異なる自治運営のあり方の検討
会計・事務効率化	・ 口座振替による会費集金システム ・ 管理委託会社による事務効率化の導入事例

⑧工夫をしながらデジタルを活用してうまくいっている取り組み（問 13）

区分	主なご意見
役員に絞った活用	・ 役員間の連絡をLINEで実施 ・ 役員間はデジタルを基本とし、住民向けは紙回覧を継続 ・ 一部の引継ぎ・事務連絡のみデジタル化
紙とデジタルの併用	・ 高齢者が多いため、回覧板・紙配布を継続 ・ デジタルが苦手な層を無理に巻き込まない ・ 対面会議（月1回）とデジタル連絡を併用
その他業務効率化	・ パソコンでの資料作成（個人レベル） ・ Excelによる会計処理で手作業を削減 ・ コピー削減の実施 ・ AIを活用したチラシ・制作物作成

⑨他団体との連携の状況（問 14）

区分	主なご意見
連携	区役所地域協働課/神戸市の各種行政機関/消防団/管理組合/管理委託会社/公園管理会
今後連携したい団体	地域の公民団体/防災福祉コミュニティ/神社

⑩地域住民が活動に参加するメリット（問 18）

区分	主なご意見
生活環境維持	・ ゴミ当番の分担・クリーンステーションの清潔維持 ・ 地域の環境が良くなる ・ 防犯・防火・衛生の向上 ・ 地区の価値を高める
防災・安全	・ 防災・防火への備え ・ 被災時に地域と協力できる ・ 高齢化が進む中での安否確認 ・ 各個人・家族のセーフティファースト
行政	・ 行政への要望を伝えられる ・ 団体としての窓口機能

⑪活動を進めていくための課題（人材面）（問 19①）

区分	主なご意見
高齢化	・ 住民・会員・役員の高齢化が進行している ・ 高齢者が多く、役員活動が困難 ・ IT・デジタル対応ができない人が多い ・ 高齢化により将来的な存続が不安
役員・担い手不足	・ 役員・会長のなり手がいない ・ 中心となって活動を担う人がいない ・ 前向きに関わろうとする人が少ない ・ 「誰かがやってくれる」という意識が強い
当番制の限界	輪番制・当番制・くじ引きで役員を決めている

区分	主なご意見
	・ 義務的な参加にとどまり主体性が生まれない ・ 高齢者にとって輪番が負担になっている
引継ぎ	・ 任期が短く、取組や課題が引き継がれない ・ 組織としての継続性が保てない ・ リーダーを育成する仕組みがない
参加意欲低下	・ 自治会の必要性を感じない人が増えている ・ 日常的な交流が減っている ・ 退会者が増加している

⑫活動を進めていくための課題（運営面）（問 19②）

区分	主なご意見
高齢化	・ 会員・役員・参加者の高齢化が進んでいる ・ 高齢化により行事や清掃などの活動参加が難しい ・ 動ける人が少なく、個人の負担が大きい ・ 孤立高齢者の増加
役員・担い手不足	・ 役員・会長のなり手がいない ・ 後継者が見つからない ・ 担い手が確保できず運営が成り立たない
当番制の限界	・ 輪番制・当番制で役員を回している ・ 毎年役員が交代し、引き継ぎが不十分 ・ 組織として継続した取組が難しい
参加意欲低下	・ 自治会活動に関心がない人が多い ・ 参加意欲が低く、消極的な会員が増えている ・ 自治会の必要性を感じないという声がある
未加入増加	・ 会員数・加入者が減少している ・ 脱会者・未加入世帯が増えている ・ 空き家・空き店舗の増加
負担増加	・ 会費集金や広報配布が負担 ・ 銀行手続きなど事務作業が煩雑 ・ 維持管理費が上昇している

⑬活役員や中心メンバーの業務負担（問 20）

区分	主なご意見
代表者への業務集中	・ 会長・理事長に業務と責任が集中している ・ 自動的に上部団体（ふれまち等）の役員を兼ねる負担 ・ まとめ役としての調整・意思決定が重い ・ 日曜・平日を含め私的時間が奪われる
会計管理	・ 会計業務（毎年の決算処理） ・ 会費の徴収・集金（戸建て世帯含む） ・ 補助金申請・会計処理全般 ・ 工事発注に伴う見積取得・精査・承認手続き
事務作業	・ 会議運営・資料作成 ・ 回覧板・チラシの配布、掲示 ・ 行政・他団体との連絡・調整 ・ 上部団体行事への参加・対応

区分	主なご意見
トラブル	・ 住民からの要望・クレーム対応 ・ 近隣トラブルへの対応 ・ 未加入者・非協力者との交渉（共有地管理等）
環境施設管理	・ ゴミ当番・クリーンステーション管理 ・ 清掃当番の調整・記録管理 ・ 公民館・共有施設の維持管理、老朽化対応
人材確保	・ 次期会長・役員・幹事の選出 ・ 役員の勧誘・担い手不足への対応 ・ 役員のなり手が減少していることへの不安

⑭役員・スタッフの関与者を増やすためアディア（問 21）

区分	主なご意見
声掛け	・ 日常的なあいさつ・声かけ ・ 個別に話をする、知り合いに依頼する ・ 会合・総会・回覧で参加を呼びかける ・ 期待する役割を分かりやすく伝える
仕組みづくり	・ 説明会で目的・活動内容を明確化 ・ 自分のできる範囲で参加してもらう ・ 複数人対応・班／グループ単位で分担 ・ 誰でもできる仕事であることを強調 ・ スポット参加（「スポットサポーター制」）
当番制	・ 輪番制・順番制・持ち回りの導入・明確化 ・ 任期を区切った輪番制（1年・2年など） ・ 各隣保から代表を出す仕組み
負担軽減	・ 行事・イベントの削減 ・ 業務内容の縮小・形骸化活動の見直し ・ ゴミ当番・回覧板などの廃止 ・ 会議回数・作業量の削減 ・ 組織の簡素化
金銭的なインセンティブ	・ 少額の手当・報酬の支給 ・ 活動時間に応じた謝礼 ・ 会費から事務員・補助人材を確保
IT活用	・ SNS・オープンチャットでの情報発信 ・ 自治会支援アプリの利用 ・ IT導入による業務軽減
外部委託	・ 管理会社への一任・業務委託 ・ 行政・区役所への相談・支援要請 ・ 公的機関からの人員・経済的支援 ・ 専門分野は特別委員会を設置

⑮活動している地域の課題（問 22）

区分	主なご意見
人口構造	・ 人口不足・少子高齢化 ・ 住民の高齢化、一人暮らし世帯の増加 ・ 若い世帯が自治会に加入・行事参加しない

区分	主なご意見
	・ 単身者・ワンルームマンション住民の増加 ・ 新入居者の地域意識・マナーの問題 ・ プライバシー意識の高まりによる関係構築の難しさ ・ 孤独死への不安
管理組織	・ 管理組合運営の負担・機能低下 ・ 上部団体・連合自治会の旧態依然とした取組みに振り回される
インフラ老朽化	・ 集会所の老朽化 ・ 道路・私道の老朽化 ・ 上下水道・用水路・共有設備の老朽化 ・ ゴミステーションの改修問題 ・ 急傾斜地崩落対策など防災インフラの老朽化
生活環境の安全面	・ 不法駐車による介護・緊急車両への支障 ・ 空き地への不法投棄 ・ バイク等の騒音問題 ・ 特定の子どもの危険行為 ・ 防犯カメラの管理負担 ・ 公共交通がなく移動が困難

⑩課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問 23）

区分	主なご意見
少子高齢化	・ 少子化対策・子育てしやすい環境づくり ・ 若い世帯・若者の流入促進 ・ 若い世代が住みやすい住宅・集合住宅の整備 ・ 高齢化による人材不足への現実的対応
若年層の参加推進	・ 役員の担い手確保、若者の参加促進 ・ 次世代が活動しやすい仕組み・環境づくり ・ 自治会活動への参加意欲を高める取組
組織活性化	・ 自治会組織の活性化 ・ 地域内団体のスリム化・再編 ・ 自治会・諸団体間の連携促進 ・ 活動内容の整理・削減（役員負担軽減）
地域インフラ	・ 公共交通機関（バス路線等）の利便性向上 ・ 病院・学校への交通手段確保 ・ 共有道路の公道化、管理範囲の縮小 ・ マンション・住宅の老朽化対策 ・ 地区の資産価値向上
防犯対策	・ ゴミ出しルール・マナー改善 ・ 防犯対策の強化 ・ 安否確認・見守り体制の整備

⑪団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問 24）

区分	主なご意見
人材確保	・ 地域の人口増加 ・ 若者・次世代の参加促進 ・ 役員・中心となる人材の確保

区分	主なご意見
	・ 役員の継承（後継者育成） ・ 60～70代の参加促進
意識醸成	・ 住民・自治会員の「志」「公共心」の醸成 ・ 近隣住民への関心の向上 ・ 向こう三軒両隣のつながり・見守り ・ 子どもの頃から地域に関わる機会づくり
情報発信	・ 活動内容をオープンにする ・ 広報掲示板など情報発信手段の整備 ・ 高齢者も使えるデジタル媒体の活用
行政連携	・ 行政との連携強化 ・ 行政・市長へ要望できる機会の設定 ・ 行政からの支援

⑱代表の選出方法（問 25）

区分	主なご意見
互選・合議	・ 役員間での互選 ・ 幹事・理事・班長等からの互選 ・ 合議による選出

⑲地域活動の担い手として参加したきっかけ（問 27）

区分	主なご意見
担い手不足	・ なり手・担い手がいなかった ・ 他にする人がいなかった ・ 誰も引き受けなかった ・ 自治会解散を避けたかった
引継ぎ	・ 前会長からの依頼・懇願・推薦 ・ 役員・先輩役員からの推薦 ・ 地域の人（複数）から頼まれた ・ 自治会からの勧誘 ・ 民生委員・児童委員経由の依頼
くじ・選挙	・ くじ引きで当たった ・ 選挙で選出された ・ 投票・他薦による選出 ・ 当番制・順番制だった
地域貢献・地域とのつながり	・ 地域に世話になってきたため ・ 地域への恩返し・地域貢献をしたかった ・ 自治会・地域の必要性を感じた ・ 若い世代に地元を好きになってほしい ・ 民生委員・児童委員をしていた ・ 管理組合役員・他団体役員をしていた ・ ボランティア・自警団活動をしていた ・ 子ども会など地域活動に継続参加してきた

※下記質問では、有効な回答はなかった。

- 法人格の有無（問 1 ⑦）

調査票

■ 令和 7 年度 神戸市内地域組織基礎調査

自治会 調査結果報告書

(連絡先)

神戸市地域協働局地域活性課（神戸市内地域組織基礎調査 担当）

電話：078-322-6492（内線 900-2274） FAX：078-322-6133

電子メール chiiki_kikaku@city.kobe.lg.jp

(調査委託先) 有限責任監査法人トーマツ